

シラバス

<SYLLABUS>

(令和5年度入学生用)



福岡県立ありあけ新世高等学校

学籍番号 _____ 氏名 _____

学校ビジョン

新世生よ、人生のプロデューサーたれ！

「自分にできることは何か？」

と意識高く問いかけ、

若さと強い精神力で、困難に立ち向かい、

「なりたい自分」をしっかりと見すえて努力し、

場をわきまえ、

相手を重んじた言動で心深く通じ合い、

人生を自らの手で仲間とともに切り拓け。

我が国に脈々と流れる

「誠実・勤勉・思いやりの心」を受け継ぎ、

地域に根ざして活躍することに

静かな誇りを持って。

生徒行動指針

- ・笑顔で明るく、大きな声で挨拶をしよう
- ・失敗を恐れず、自ら進んで行動しよう
- ・自分の意見を持ち、相手に伝えることができるようになろう
- ・自分たちの力で企画・運営していく実行力を身につけよう
- ・いろいろなことにチャレンジし、自分の夢や道を拓こう

目 次

1 巻頭言	1
2 シラバスの活用の仕方	2
3 履修と修得について	3
4 単位の意味と卒業の要件	3
5 系列について	4
6 技能審査の成果による単位認定について	4
7 各科目シラバス	5～117

<各学科に共通する各教科・科目>

国語	5	～	11
地理歴史	12	～	19
公民	20	～	22
数学科	23	～	31
理科	32	～	43
保健体育	44	～	46
芸術	47	～	58
外国語	59	～	65
家庭情報	66	～	68
	69		

<主として専門学科において開設される各教科・科目>

農業	70	～	84
商業	85	～	97
家庭	98	～	101
看護	102	～	
福祉	103	～	106
体育	107	～	111
美術	112		
英語	113		
総合	114	～	115
	116	～	117

8 科目選択コード表	118	～	119
------------	-----	---	-----

巻頭言「良樹細根～今は根を張る時期～」

校長 與賀田 敦

英語の「シラバス (syllabus)」の語源

ギリシャ語の *sittuba* を語源としている。元々の意味は、「羊皮紙製の書籍のラベル」または「標題紙」である。

高校のシラバスとは

各学校の教科・科目・総合的な探究の時間などの教育活動に関する詳細な計画書のこと、生徒・保護者等への説明（公開）用に作成するものである。シラバスには、履修年次、取得単位数、使用教材、選択の視点、進路対応、授業概要、主な評価の観点と評価方法、学習のアドバイス等を記載している。

大切なのは、決めることより考えた時間

数多くある科目の中から、自分の道を選んで決める。「選ぶなんて無理・・・」と不安に思う人もいれば、「適当に決めちゃえばいいんでしょ？」と考える人もいるかもしれない。実は、選ぶことや決めることよりも、もっと大切なことがある。それは、その過程で君がじっくり考えること。どんなことに興味があって、どんなことを学びたいのか、どんなふうに働きたいのか、どんな生き方をしたいのか。自分自身と向き合うことで、君の“自分軸”が見えてくる。その“自分軸”は、高校卒業後の進路だけでなく、君が将来大人になって将来を考える場面でも、きっと役に立つ。考えたり悩んだりする、その時間こそが財産。だから、じっくり自分と向き合ってみよう。

思いを定める

自分から積極的に選ぶにせよ、やむを得ず選ぶにせよ、無限にある選択肢の中から、ある一つの道を選ぶのが人生である。人生は絶え間ない選択の連続である。

だから、不本意な境遇や望んでいなかった状況に置かれると、人はとかく、自分のいるべき場所はどこではない、本当はもっと違う所にいるはずだったと思い、過去の選択を悔やむ。しかし、現実には自分がいるのは今、ここなのである。ここ以外にはないのである。諦めろというのではない。今の自分を、今この時を大切にしようというのである。

今の境遇をありのままに認め、受け入れて、いかに充実したものにしていくか、それがこの先の人生を決める。そう思い定めて、とにかく懸命に今を生きよう。泣き言や弱音を吐かず、自分に与えられたこの道を坦々と歩み続けよう。その中で、面白みや生きがいを見出し、日々を楽しむことのできる人は、後悔という言葉とは無縁であるに違いない。

最後に、「シラバス」の完成に向けて、ご尽力いただきました先生方をはじめとする関係各位に対し、心からお礼を申し上げます。

2 シラバスの活用の仕方

本校は、自分の進路を真剣に考え、自らの手で人生を切り拓く力を持った人間を育てる総合学科高校です。そこで、自分の目標とする進路を実現するために、学ぶ科目を選択しなければなりません。このシラバスは、皆さんが科目を選択するにあたっての羅針盤ともいべき大切な冊子ですから、常に手元に置いてボロボロになるまで読み返し、悔いのない高校生活を送ってください。

また、このシラバスは、選択の指針ばかりでなく、以下の内容も記載していますので、あわせて参考にしてください。

「学習のアドバイス」…学ぶに際し、興味を深め効果的な学習を行うために心がけることや勉強法をアドバイスしています。

「項目別到達目標」……「基礎」は、就職・進学いずれの進路にしる、必ず習得すべき必要最低限の到達目標を示しています。「応用」は、進学、特に4年制大学希望者にとって受験に必要な到達目標を示しています。

「身につける力」………本科目を学ぶことで身につけることができる学力・社会性及び資格取得を具体的に示しています。

「履修条件」………「必修」は、卒業するために必ず履修しなければならない科目です。「選択必修」は、指定された科目の中から科目選択して必ず履修しなければならない科目です。

「選択履修」は、進路希望に応じて自由に選択できる科目です。

本校では、1年次に「産業社会と人間」という社会や職業に関する知識を養う科目を学びます。自分の進路や職業を考える基礎知識を習得するとともに、職業観や人生観を磨き、真剣に自分の将来を考える態度を養う大切な教科です。ここで学んだり体験したりしたことを踏まえて、シラバスを活用し、2・3年次の科目を選ぶこととなります。2年次に進む際にまだ自分の進路を決めかねている生徒や、3年次に進む際に進路目標が変わった生徒でも本校では柔軟に対応できますが、その際は先生のガイダンスをよく聞いて、進路実現可能な科目選択をしてください。

このシラバスには、総合学科高校で学ぶ生徒に対する本校の先生方の体験に基づいた熱い思いと貴重なアドバイスが記してあります。また、このシラバスは皆さんの学力の評価や先生方の授業評価の基準にもなりますので、求められる到達点をよく理解した上で勉強してください。

3 ^{りしゅう しゅうとく}履修と修得について

^{りしゅう}履修とは？

原則として1年間その科目の授業を受けることを言います。これは、きちんと授業に出席して、その科目を真剣に取り組んだときにはじめて履修したと認められます。

欠課（授業の欠席）が多かったり、授業中真面目に取り組んだりしていなかった場合は、その科目を履修した（受けた）ことにはなりませんので、注意しましょう。

^{しゅうとく}修得とは？

成績や授業の出席状況などを総合的に判断し、その科目の学習の成果が十分であると認められることを言います。

成績は、授業中の活動、実習・実技の様子、発表、レポート、提出物の状況、定期考査を総合的に評価されます。

4 単位の意味と卒業の要件

それぞれの科目には単位数というものが定められています。この単位数というのは、1年間その科目の授業を受けることを前提にして、1週間に何時間その授業があるかということを示しています。

例えば、「古典探究」が4単位であるとすれば、1週間に4時間「古典探究」の授業があるということです。本校では授業は月曜日から金曜日まで毎日6時間ずつ（HR等も含む）ありますので、1週間で30時間、つまり30単位を履修することになります。これが3年間あるわけですから、卒業までに90単位履修しなくてはならないということです。

※ 卒業の要件 ※

卒業するためには、最低74単位を修得していなければなりません。ただし、74単位修得していても、^{ひつりしゅうかもく}必履修科目（必ず受けておかなければならない授業）を履修していなかったり、授業への出席時数が不足したりすると、3年間で卒業できません。

5 系列について

系列とは進路分野別に分類した授業のグループです。本校では、7つのグループに分けて自分の進路にあった授業を選択しやすいようにしています。

系 列	内 容	主 な 進 路 先
人文科学	国語や英語、地理歴史、公民などの文科系科目を中心に学び、大学進学をはじめ、多様な進路実現の基礎となる教育内容です。	文系4年制大学進学 (文学、経済、商、法、教育学部等)
自然科学	数学や理科などの理科系科目を中心に学び、大学進学をはじめ、多様な進路実現の基礎となる教育内容です。	理系4年制大学進学 (工学、理学、医学、農学、教育学部等)
生物資源	動植物や食品などの農業・食物関連の科目について主に学び、生命と食料、環境等について理解し、職業や家庭生活に活かせる教育内容です。	農業・食物関係の就職 農業・食物関係の進学 (4年制大学推薦、短大、専門学校、農業大学校等)
情報	パソコンを活用した多様な情報関連の科目について主に学び、高度情報通信社会における情報技術の基礎となる教育内容です。	情報関係の就職 情報関係の進学 (4年制大学推薦、短大、専門学校等)
ビジネス	商業活動やビジネス関連の科目について主に学び、その専門性を深めたり、将来の職業生活の基礎となる教育内容です。	ビジネス関係の就職 ビジネス関係の進学 (4年制大学推薦、短大、専門学校等)
福祉サービス	高齢化社会における老人介護などの福祉関連の科目について主に学び、福祉マインドの養成や福祉関係への進路実現を目指す教育内容です。	福祉関係の就職 福祉関係の進学 (4年制大学推薦、短大、看護学校等)
地域文化	有明地域の歴史や産業、伝統文化など、地域の素晴らしさの体験とその自然環境等に関する学習を取り入れた教育内容です。	就職(漁業、工芸等) 進学(専門学校等)

6 技能審査の成果による単位認定について

本校では、みなさんの学習意欲が高まり、優れた能力を一層伸ばす観点から、特定の技能審査に合格し、資格等を取得した場合、その成果を技能審査の内容に対応する科目の増加単位として認めることとしています。以下に、その技能審査の種類、該当科目、増加単位数を示しますので、積極的に取り組んでください。 ※書道Ⅰに関しては硬筆、毛筆の両方の合格が必要です

技能審査の種類	実施団体	教科	科目	単位数
日本漢字能力検定(2級)	日本漢字能力検定協会	国語	言語文化	1単位
実用英語技能検定(準1級)	日本英語検定協会	外国語	英語コミュニケーションⅠ	3単位
実用英語技能検定(2級)	日本英語検定協会	外国語	英語コミュニケーションⅠ	2単位
実用英語技能検定(準2級)	日本英語検定協会	外国語	英語コミュニケーションⅠ	1単位
硬筆書写技能検定(2級)	日本書写技能検定協会	芸術	書道Ⅰ	1単位
毛筆書写技能検定(2級)	日本書写技能検定協会	芸術	書道Ⅰ	1単位
危険物取扱者(乙種)	総務省	農業	食品製造	1単位
園芸装飾技能士(3級)	厚生労働省	農業	草花	1単位
簿記検定(2級)	日本商工会議所	商業	財務会計Ⅰ	2単位
簿記実務検定(1級)	全国商業高等学校協会	商業	財務会計Ⅰ	2単位
ビジネス計算実務検定(1級)	全国商業高等学校協会	商業	OA事務	1単位
ビジネス文書実務検定(1級)	全国商業高等学校協会	商業	情報処理	1単位
情報処理検定(1級)	全国商業高等学校協会	商業	情報処理	1単位
秘書技能検定(2級)	実務技能検定協会	商業	秘書入門	2単位
リテールマーケティング検定(2級)	日本商工会議所	商業	販売演習	1単位
福祉住環境コーディネーター検定(2級)	東京商工会議所	福祉	社会福祉基礎	1単位
ファッションビジネス能力検定(2級)	日本ファッション教育振興協会	家庭	ファッションデザイン	1単位
ITパスポート試験	情報処理推進機構	情報	データベース	2単位

7 各科目シラバス

科目選択コード	601100101	科目名	現代の国語	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	現代の国語(東京書籍)			
	副教材	ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館)			
到達目標	実社会に必要な国語の知識や技能、論理的に思考し表現する力、言葉をとおして社会に関わろうとする態度を身に付ける。				
選択条件	必履修科目です。全員が履修します。				
	【補足】				
授業内容	①現代文…評論・随筆 ②自己表現…プレゼンテーション・レポート				
学習方法	①文章を読んでいくうえで、分からない言葉や表現については辞書を引いて調べる。 ②教科書の文章だけでなく、同じ筆者の他の文章を読んだり、同じテーマの他の文章を積極的に読み、物事を深く考えることに慣れていく。 ③発表やレポート作成に積極的に取り組む。				
評価の観点	知識・技能	実社会に必要な国語の知識や技能が身に付いているか。			
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができているか。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身に付いているか。			
評価方法	知識・技能	ノート 授業時の態度 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 レポート授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601110101	科目名	言語文化	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	新 言語文化(三省堂)			
	副教材	ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館)			
到達目標	我が国の言語文化に特徴的な、豊かな語彙を身につけ、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を磨く。我国特有の表現について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができる。				
選択条件	必履修科目です。全員が履修します。				
	【補足】				
授業内容	「読むこと」、「話す・聞くこと」、「書くこと」、「考えること」、「言語に関すること」など現代から古典までの物語や詩歌、随想などの分野について学習します。古典の基礎を、専門学校や就職を目指す人は一般教養として学習します。				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の読書や新聞の活用で様々な文章に触れることで正しい表現に触れることで、語彙力や漢字力、読解力の向上に努め、自己表現力を高めます。 ・朝課外や授業を通して文章や文法を音読・読解・暗記し基礎力を身につけます。 ・ノートの取り方を工夫したり、小論文、詩歌・俳句の創作などに積極的に取り組んだりすること。 				
評価の観点	知識・技能	我が国の言語文化に特徴的な、豊かな語彙を身につけ、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して語感を身につけているか。			
	思考・判断・表現	我国特有の表現について、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えることができるか。			
	主体的に学習に取り組む態度	文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫する取り組みを行うとともに、自らの学習を調整することができるか。			
評価方法	知識・技能	小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 創作活動			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・ノート グループ活動 創作活動 読書活動 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601120102(2年) 601120103(3年)	科目名	論理国語	単位数	2年次(2単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	人文科学	履修条件	原則履修
使用教材	教科書	論理国語(大修館書店)			
	副教材	現代文ウイニングクリア1(尚文出版)国語必携ライトパーフェクト演習(尚文出版)			
到達目標	言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解する。書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決める。言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を身につける。				
選択条件	2年次及び3年次で全員履修します。				
	【補足】				
授業内容	①漢字・語句を学び基礎的な常識を身に付けます。 ②さまざまな文章に触れ、多様な考え方を養います。 ③文章の要点や作者の考えの捉え方を学びます。 ④自分の意見発表や、人の意見を聞くことを通して、コミュニケーションの方法を学びます。				
学習方法	①文章を読んでいくうえで、分からない言葉や表現については辞書を引いて調べる。 ②教科書の文章だけでなく、同じ筆者の他の文章を読んだり、同じテーマの他の文章を積極的に読み、物事を深く考えることに慣れていく。 ③社会の問題にも関心を持つ。				
評価の観点	知識・技能	言葉には、言葉そのものを認識したり説明したりすることを可能にする働きがあることを理解しているか。			
	思考・判断・表現	実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、書き手の立場や論点などの様々な観点から情報を収集、整理して、目的や意図に応じた適切な題材を決めることができるか。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度が身についているか。			
評価方法	知識・技能	ノート 小論文 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	グループ活動 レポート 小論文 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 レポート 授業時の態度 小テスト			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601130102(2年) 601130103(3年)	科目名	文学国語	単位数	2年次(2単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	文学国語(東京書籍)			
	副教材	ビジュアルカラー国語便覧改訂版(大修館) 読み解く古典2(浜島書店)			
到達目標	社会生活に必要な国語の知識を身につけ、創造的に考え、他者に自分の考えを伝える力を高め、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を身につける。				
選択条件	①2年次で選択した場合は、3年次でも継続して履修します。 ②社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、言語文化に対する理解を深めたいと考える生徒。 ③創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになりたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	①日常生活に必要な漢字・語句を身に付けます。 ②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。 ③筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。 ④グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。				
学習方法	①日常生活に必要な漢字・語句を身に付けます。 ②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。 ③筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。 ④グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。				
評価の観点	知識・技能	情景の豊かさや心情の機微を表す語句を理解し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き、語彙を豊かにする。文学的な文章やそれに関する文章の種類や特徴などについて理解を深めているか。			
	思考・判断・表現	文学的な文章を書くために、情報を収集、整理して表現したいことを明確にする。文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開、描写の仕方などに的確に捉える。様々な資料を調べ、その成果を発表したり短い論文などにまとめたりすることができたか。			
	主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしていくか。			
評価方法	知識・技能	小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 創作活動			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・ノート グループ活動 創作活動 読書活動 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601140102(2年) 601140103(3年)	科目名	国語表現	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	国語表現(大修館書店)			
	副教材				
到達目標	他者とのコミュニケーション力を育成するため、実社会において必要となる、他者との多様な関わりの中で伝え合う力を育成する。				
選択条件	<p>①2年次または3年次で選択履修します。</p> <p>②4年制大学進学、医療・看護系専門学校進学希望者で、入試に「小論文」が課せられている生徒。</p> <p>③表現することが好きで、小論文・原稿なしスピーチ等の活動に積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。</p>				
	<p>【補足】</p> <p>短大・専門学校(一般)等で「作文」がある場合でも、必ずしも選択する必要はありません。</p>				
授業内容	<p>決められた時間内で課題(作品)を仕上げ、発表します。学習内容としては、次のようなものがあります。</p> <p>①小論文 ②原稿なしスピーチ ③志願理由書・自己推薦文の書き方 ④討論・プレゼンテーションの技術</p>				
学習方法	<p>「表現力」を身に付けるためには、日頃から「ネタ」を仕入れることが大切です。次のようなことに積極的に取り組む。</p> <p>①新聞や新書を読み、知識を蓄える。 ②語彙数を増やすためにも、分からない言葉に出会ったら、国語辞典で調べる習慣を身に付ける。 ③日頃から文章を書く習慣を身につけ、添削をしてもらう。</p>				
評価の観点	知識・技能	豊かな語彙力と内容を的確に理解する読解力、授業を通して知識や技能を身に付け伸ばすことができるか。			
	思考・判断・表現	読んだ内容をまとめ、思考を深めた意見や感性豊かな感想が書ける。調べたことや他者と自己の考えを比較対照して判断し、それを表現することができるか。			
	主体的に学習に取り組む態度	自国の文化、特に国語や言語に関心を持ち、言語感覚を磨きながら探究することで自己の向上を図ることができるか。			
評価方法	知識・技能	文章要約 小テスト			
	思考・判断・表現	ノート グループ活動 創作活動 文章要約・小論文 読書活動			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 創作活動 読書活動 授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601150102	科目名	古典探究	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高等学校古典探究古文編・漢文編(第一学習社)			
	副教材				
到達目標	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。				
選択条件	①古典を主体的に読み深めることを通して伝統と文化の基盤としての古典の重要性を理解します。自分と自分を取り巻く社会にとっての古典の意義や価値について探究したい生徒。 ②伝統的な言語文化を理解し、先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高めたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	①古文及び漢文の両方を学習します。 ②さまざまな文学作品に触れ、多様な考え方を学びます。 ③古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解します。 ④古典作品に表れる筆者の考えの要点をまとめる力を身につけます。 ⑤グループ活動等により、自分の意見を発表したり、人の意見を聞いたりして、自分の考えを深めます。				
学習方法	①古典を読み深めるため、音読、朗読、暗唱を行う。 ②分からない文語、文法、訓読のきまり等は積極的に調べたり教師に質問したりして、語彙力及び読解力を向上させる。 ③古典作品に表れた筆者の考えを積極的にまとめる。				
評価の観点	知識・技能	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を理解するとともに、伝統的な言語文化に対する理解かできているか。			
	思考・判断・表現	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が身につけているか。			
	主体的に学習に取り組む態度	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力が身につけているか。			
評価方法	知識・技能	定期考査 小テスト			
	思考・判断・表現	ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 読書活動 授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	601160103	科目名	古典精読	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新編古典B(東京書籍)			
	副教材	新成古典2(尚文出版)			
到達目標	古典作品を多く読み、古典文法や言葉を理解するとともに、古人の考えや生き方を学び、日常の生活に生かす。				
選択条件	<p>①古文と漢文を学習します。</p> <p>②2年次に「古典探究」で学習した古典をより深く学習し、大学入試に対応できるレベルを目指します。(文法・文学史・単語・古典の知識等)</p> <p>③4年制大学・短大等の入試で古典が出題される人は選択します。</p> <p>④2年次で「古典探究(4単位)」を選択した人は、さらに3年次で「古典精読(2単位)」を選択することが望ましい。</p> <p>⑤他教科の履修の都合で、2年次に「古典探究」を選択できなかった場合は、3年次で「古典精読(2単位)」を選択することが望ましい。</p>				
	【補足】				
授業内容	<p>2年次の「古典探究」で学習した授業内容を踏襲しつつ、より深く学習します。</p> <p>①音読を通して美しい日本語の響きを学びます。</p> <p>②日本の古典の世界の人々の風俗習慣や文化を学びます。</p> <p>③中国の文化や漢文訓読の美しい響きを学びます。</p> <p>④古典の文法事項や文学史の知識を学びます。</p> <p>⑤様々な登場人物の生き方や考え方を学びます。</p> <p>⑥大学の入試に対応できる知識を身につけます。</p>				
学習方法	<p>①本文をノートに書き写し、辞書や便覧を使って口語訳を行い、授業中に修正する。</p> <p>②文法事項や単語のポイントを抑えて学習する。</p> <p>③考査前には必ず復習を行い、内容に関する理解を深めておく。</p>				
評価の観点	知識・技能	豊かな語彙力と内容を的確に理解する読解力、授業を通して知識や技能を身に付け伸ばすことができる。			
	思考・判断・表現	読んだ内容をまとめ、思考を深めた意見や感性豊かな感想が書ける。調べたことや他者と自己の考えを比較対照して判断し、それを表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自国の文化、特に国語や言語に関心を持ち、言語感覚を磨きながら探究することで自己の向上を図ることができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査 小テスト			
	思考・判断・表現	ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート グループ活動 読書活動 授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602100102(2年) 602100103(3年)	科目名	地理総合	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	わたしたちの地理総合(二宮書店)、新詳高等地図(帝国書院)			
	副教材	わたしたちの地理総合 ワークブック(二宮書店)			
到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育むことを目指します。				
選択条件	①2年次か3年次で全員が必ず履修しなければならない科目です。				
	【補足】 大学入学共通テストにおいて試験科目の一部となります。 現代世界の特色と問題点や生活圏の諸課題について地理的考察を行います。具体的には「今日の地球的課題」で環境・資源・エネルギー問題、農業・食料・人口問題、少子・高齢化問題などを学習します。これらは進学のみならず公務員や就職試験にも小論文・作文試験として出題される問題です。				
授業内容	A 地図や地理情報システムで捉える現代世界 B 国際理解と国際協力 (1)生活文化の多様性と国際理解 (2)地球的課題と国際協力 C 持続可能な地域づくりと私たち (1)自然環境と防災 (2)生活圏の調査と地域の展望				
学習方法	地理総合に興味を持てるようになるためには、いつも世界の動きに触れておくことが大切です。テレビや新聞で興味ある情報が流れ、その場所が分からなければ地図帳で調べる習慣をつけましょう。旅行番組や世界のクイズ番組等を楽しんで見て、地理を好きになることも大切です。				
評価の観点	知識・技能	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。			
	思考・判断・表現	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト			
	思考・判断・表現	定期考査、ノート、課題			
	主体的に学習に取り組む態度	小テスト、ノート、課題、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602110103	科目名	地理探究	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新詳地理探究(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)			
	副教材	未定			
到達目標	社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成する。				
選択条件	①大学入学共通テストや私立大学入試に対応したものです。 ②推薦入試や自己推薦型入試などの小論文や就職試験の作文にも参考になります。				
	【補足】 大学入学共通テストの試験科目の一部となります。また、私立大学の一般選抜においても、入試科目として選択できる場合があります。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○自然環境(地形・気候)と生活 ○資源と産業 ○世界の諸地域(アジア・ヨーロッパ・アメリカなど) ○グローバル化する現代社会 ○地球的な課題(食糧・環境・領土問題など) 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・入試問題などの応用問題を取り扱います。十分な予習・復習を心がけてください。 ・地理用語などは事前に用語辞典で調べる習慣を身につけましょう。 ・教科書や地図の写真やグラフ、表などの図解で読み解く力を高めましょう。 				
評価の観点	知識・技能	地理的事象に対して、基本から応用までの追及方法を理解し、それらを多面的に考察できる。			
	思考・判断・表現	様々な地理的事象を多面的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	日本や世界の生活文化に関心を持ち、地理的思考力を磨きながら探究することで社会に対する教養を深めることができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト等			
	思考・判断・表現	定期考査、ノート、長期休業中の課題等			
	主体的に学習に取り組む態度	小テスト、ノート、長期休業中の課題、授業時の態度等			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602120101	科目名	歴史総合	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	歴史総合(実教出版)			
	副教材	歴史総合演習ノート(実教出版)			
到達目標	近現代の歴史について、歴史の変化にかかわる事象の意味や意義を理解している。				
選択条件	この科目は1年次の必履修ですので、全員が履修します。				
	【補足】 大学入学共通テストにおいて試験科目の一部となります。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる活動を行います。 ・近現代の歴史の変化にかかわる事象の意味や意義を学習します。 ・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養います。 				
学習方法	<p>現代の世界にもつながる学習になってきます。日ごろから、日本だけでなく、世界のニュースを見ることを心がけましょう。</p> <p>選択の視点にもありますが、4大への進学を希望している人は日本史探究、世界史探究へつながります。</p> <p>予習、復習をしっかりと行ったうえで授業に臨みましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解している。			
	思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる諸事象の意味や意義、特色などを、考察したり、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、課題を主体的に追究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト			
	思考・判断・表現	定期考査・長期休業中の課題			
	主体的に学習に取り組む態度	(授業時の態度・長期休業中の課題)			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602130102	科目名	日本史探究	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	詳説日本史(山川出版社)			
	副教材	詳説日本史(浜島書店)、日本史探究ノート(光文館)			
到達目標	日本の歴史の展開を世界の様々な文明や文化との比較に立って、政治的、経済的、文化的側面から学んでいきます。また、日本の文化と伝統の特色について理解を深め、さらに、歴史的見方や考え方を身につけます。				
選択条件	①4年制大学進学希望で、受験科目に必要な生徒。 ②日本史に興味や関心があり、日本の歴史を深く総合的に学習したい生徒。				
	【補足】 4年制大学の受験で、私立大学文系や大学入学共通テストで必要な場合には、選択してください。				
授業内容	学習の対象を狭い意味の自国史のみに限定することなく、各時代における国際環境との関連を視野に入れ、空間的な関わりや世界史的な視点からわが国の歴史と文化を考える学習を重視します。具体的には、原始・古代から現代までの歴史を、政治的・社会経済的・文化的側面から系統的に詳しく学んでいきます。				
学習方法	学習した内容を必ず復習していくこと。そして問題演習をして、受験問題に対応できる学力を身につけていく必要があります。家庭学習の時間を確保して、努力してください。				
評価の観点	知識・技能	日本の歴史について基本的な事項を様々な角度や側面から考察し、理解することができる。また、各時代の考古学資料や古文書や絵画などの諸資料を通して、歴史の特徴や展開を理解し、まとめることができる。			
	思考・判断・表現	日本史の諸課題について、様々な観点から考察し、まとめて発表することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	日本史の特徴と展開について、興味や関心を持ち、課題意識を持って意欲的に活動することができる。			
評価方法	知識・技能	教科書、諸資料の理解、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	諸資料の理解、提出物、レポート作成と発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、提出物、予習や復習			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602140102	科目名	世界史探究	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	詳説世界史 改訂版(山川出版社)			
	副教材	アカデミア世界史(浜島書店)、世界史研究ノートⅡ(光文館)			
到達目標	世界の大きな枠組みと展開に関わる事象について理解している。				
選択条件	<p>①「世界史探究」は、「歴史総合」を履修した後に履修することができます。</p> <p>②「世界史探究」は、各大学の入試科目として指定されているため、「世界史探究」で受験を希望している生徒。</p> <p>③特に、将来、国際関係・国際交流を学びたい生徒は、「世界史探究」を履修することを勧めます。</p>				
	<p>【補足】 4年制大学の受験で、私立大学文系や大学入学共通テストで必要な場合には、選択してください。</p>				
授業内容	<p>「世界史探究」は、世界の大きな枠組みと展開に関わる事象について、①地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解し、諸資料から効果的に調べまとめる技能を身に着ける②事象の意義や特色などに着目して、多面的・多角的に考察したり歴史にみられる課題を把握し、解決を視野に入れて構想したり効果的に説明したり、議論したりする力を養う③よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度や、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚を深める。</p>				
学習方法	<p>学習内容が多く、予習として教科書を読んでおく、復讐は資料集などを使い、より深く学習していくことが必要になります。また問題演習については、家庭学習で自主的に取り組む必要があります。</p> <p>世界史は原因と結果、他の歴史的事象との関係性を意識していく視点が大切です。計画性をもって理解し記憶し、多きな歴史の流れと構造的把握ことを意識して学習してください。</p>				
評価の観点	知識・技能	世界の歴史について、基本的な事項を考察し、諸資料を活用して歴史的特質を構造的に理解することができる。			
	思考・判断・表現	歴史的諸現象を、資料の活用・事象相互の関係性・地理的文化的経済的に着目して考察し、その意義や意味を理解しまとめて説明し、議論することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	世界史の展開や特徴について、興味や関心を持ち、歴史の課題を主体的に探究し活動することができる。			
評価方法	知識・技能	教科書、諸資料の理解、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	諸資料の理解、提出物、レポート作成と発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、提出物、予習や復習			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602150102(2年) 602150103(3年)	科目名	有明学	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	地域文化	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	①世界遺産検定3級以上を取得する。 ②南筑後地域および「郷土遺産」について理解する。				
選択条件	①条件は特にありません。 ②進路において、公務員・学芸員・観光業等を希望している生徒は、多文化理解や地域文化への理解を深めることができます。				
	【補足】				
授業内容	1 世界遺産についての学習 (1)世界遺産の基礎知識 (2)日本の世界遺産・世界の世界遺産 2 南筑後地域および「郷土遺産」についての学習 (1)「水郷」柳川 (2)明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域 (3)学校周辺の「郷土遺産」				
学習方法	日ごろから世界遺産や地域社会に興味を持ち、ニュースや話題に関心を持ちましょう。 NHKの「世界遺産」や旅番組等を視聴したり、ガイドブックを読んだりすることで、より学習が楽しくなります。 地域に関する本や資料を、図書館を利用して読みましょう。 身近な地域に足を運んで自分の目で確かめて、地域の人の話に耳を傾けましょう。				
評価の観点	知識・技能	世界遺産の基礎知識や世界遺産の種類、南筑後地域および「郷土遺産」について理解している。			
	思考・判断・表現	世界や日本の世界遺産について歴史的・地理的背景を踏まえて考察したり、地域社会の状況について公正に議論したりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	世界遺産や地域の諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択し、効果的に活用することができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動・レポート・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602160103	科目名	発展日本史	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし(継続使用)			
	副教材	なし(継続使用)			
到達目標	演習問題を中心に深く掘り下げて学習する中で、日本の歴史の展開を世界の様々な文明や文化との比較に立って、政治的、経済的、文化的側面から学んでいきます。また、日本の文化と伝統の特色について理解を深め、さらに、歴史的見方や考え方を身につけます。				
選択条件	①日本史探究を2年次で履修している生徒。 ②演習問題を中心に、深く掘り下げて学習したいと考える生徒。 ③4年制大学進学希望で、受験科目に必要な生徒。				
	【補足】 国公立4年制大学理系学部進学希望者は、「歴史総合」で受験可能な場合もあるので、受験科目をよく確認して選択すること。				
授業内容	<p>1 近代への転換と歴史的環境についての発展的学習 (1)近世から近代への時代の転換についての発展的学習 (2)近世から近代の国家・社会の変容についての発展的学習</p> <p>2 近現代の地域・日本と世界の画期と構造についての発展的学習 (1)立憲体制への移行、国民国家の形成、アジアや欧米諸国との関係の変容についての発展的学習 (2)産業の発展の経緯と近代の文化の特色、大衆社会の形成についての発展的学習 (3)第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容についての発展的学習 (4)我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係、現代の政治・社会の枠組み、国民生活の変容についての発展的学習</p> <p>3 近現代の日本と世界の課題についての発展的学習 (1)近代化と現代的な諸課題についての主題学習 (2)国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題についての主題学習 (3)現代的な諸課題の形成と展望についての主題学習</p>				
学習方法	<p>入試問題などの応用問題を、演習形式で実施します。</p> <p>①歴史の大きな流れを理解しましょう。 ②歴史的語句の意味を、よく理解しましょう。 ③教科書を中心に、何度も繰り返して知識を定着させましょう。 ④自主的に、予習や復習をすることで、効果的な学習ができます。家庭学習を充実すること。</p>				
評価の観点	知識・技能	日本の歴史について、基本的な歴史的事項を世界の歴史や関係性の中で理解することができる。また、考古学的資料や文字史料・絵画資料などを有効に活用し、公正・公平に分析・評価し、活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本史の諸課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	日本の歴史に対する関心や興味を持ち、意欲的に学習活動を行うことができる。			
評価方法	知識・技能	教科書・諸資料の理解、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	諸資料の理解、提出物、レポート作成と発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度、提出物、予習や復習			

7 各科目シラバス

科目選択コード	602170103	科目名	発展世界史	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	原始・古代から現代までの世界史を中心に、様々な角度から考察して、その特徴や意義を理解し、歴史的思考力や国際社会に主体的に生き、国家・社会を形成する日本国民としての意欲や態度を育成する。				
選択条件	①2年次で、「世界史探究」を履修している生徒。 ②4年制大学進学希望で、受験科目に必要な生徒。				
	【補足】 国公立4年制大学理系進学を希望する生徒は、他の科目でもよい場合には、発展世界史を履修しないほうがよい。				
授業内容	①2年生で学習した内容をさらに深く学習します。 ②大学受験の入試問題に対応できる学力を育成します。 ③2年次の「世界史探究」に比べて、学習速度が速くなります。 ④学習する内容について、予習と復習が必要です。問題演習が不足しますので、歴史的語句の記憶の定着化、定着化した記憶を解答できる技術を自主的に学習していく必要があります。				
学習方法	入試問題などの応用問題を、演習形式で実施します。 ①歴史の大きな流れを理解しましょう。 ②歴史的語句の意味を、よく理解しましょう。 ③教科書を中心に、何度も繰り返して記憶しましょう。 ④自主的に、予習や復習をすることで、効果的な学習ができます。				
評価の観点	知識・技能	世界の歴史について、基本的な歴史的事項を理解することができる。また、様々な考古学的資料や文字史料・絵画資料などを有効に活用し、公正・公平に分析・評価し、活用することができる。			
	思考・判断・表現	世界史の諸課題について、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	世界の歴史に対する関心や興味を持ち、意欲的に学習活動を行うことができる。			
評価方法	知識・技能	教科書・資料集の理解, 小テスト, 提出物, 定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動, レポート作成, 発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度, 授業中の活動, 提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	603100102	科目名	公共	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	公共(東京書籍)			
	副教材	公共ワークノート(東京書籍)			
到達目標	広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することをめざす。				
選択条件	①2年次で全員が必ず履修しなければならない科目です。 ②現代社会の特質と諸問題について広く学習したい生徒。 ③21世紀を生き抜いていくために最低限必要な社会常識を身につけ、様々な課題に対して自分の頭で考える力をつけたい生徒。				
	【補足】 大学入学共通テストにおいて試験科目の一部となります。				
授業内容	A 公共の扉 (1)公共的な空間を作る私たち (2)公共的な空間における人間としての在り方生き方 (3)公共的な空間における基本的原理 B 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち C 持続可能な社会づくりの主体となる私たち				
学習方法	・日頃から社会の動きに注意を向け、新聞やニュースを毎日視聴する習慣をつけましょう。 ・大学進学を目指す生徒は、新聞記事を要約したり、コラムを書き写すことも有効です。 ・現代社会を理解するには、地理的な見方や考え方を身につけることも不可欠なので、国名や地名を地図帳(中学校で使ったものでも可)で確かめる習慣をつけましょう。				
評価の観点	知識・技能	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめることができる。			
	思考・判断・表現	現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を身につけ、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト等			
	思考・判断・表現	定期考査、ノート、課題等			
	主体的に学習に取り組む態度	定期考査、ノート、課題、授業時の態度等			

7 各科目シラバス

科目選択コード	603110103	科目名	倫理	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	青年期における自己形成と人間としての在り方生き方について理解や思索を深めるとともに、良識ある人格の形成に努める意欲や、他者とともに生きる自己を確立するために必要な力を養います。				
選択条件	①公務員試験を受験する人は、可能な限り選択してください。				
	【補足】 大学入学共通テストにおいて試験科目の一部となります。 人文科学・社会科学への興味・関心を持つ人にとっては、あらゆる専攻の基礎となります。また、自分の悩みを客観的に見つけ、その解決を図ることができます。大学入学共通テストで「倫理」を受験する人は選択してください。				
授業内容	(1)現代に生きる自己の課題 (2)人間としての在り方・生き方 ・人間としての自覚 ・国際社会に生きる日本人としての自覚 (3)現代と倫理 ・現代に生きる人間の倫理 ・現代の諸課題と倫理				
学習方法	自らの体験や悩みを振り返ることを通して、青年期の意義と課題を理解し、他者と共に生きる自己の生き方について考えを深めてください。また、先哲の基本的な考え方を手掛かりとして、人間の存在や価値について考えを深めてください。さらに、よりよい国家・社会をつくり、国際社会に主体的に貢献しようとする在り方・生き方についても考えを深めてください。そのためにも、日ごろから読書に親しみ、幅広い教養を身につける努力を続けてください。				
評価の観点	知識・技能	諸資料を様々なメディアを通して収集し、自己形成や人間のあり方・生き方に関する基本的事項を理解することができる。			
	思考・判断・表現	人間の存在や価値等について、多面的・多角的に考察し、公正に判断し表現できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	人格形成と自己の確立に努める、関心や実践的意欲を持つとともに、諸課題を探究する意欲や態度を身に付ける。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト等			
	思考・判断・表現	定期考査、ノート、レポート等			
	主体的に学習に取り組む態度	ノート、レポート、授業時の態度等			

7 各科目シラバス

科目選択コード	603120103	科目名	政治・経済	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。				
選択条件	①国公立大学や私立大学(文系)入試において、「政治・経済」での受験を考えている生徒。 ②公務員試験では、この科目の内容が比較的多く出題されます。公務員への就職を希望する生徒はできるだけ履修してください。				
	【補足】 大学入学共通テストにおいて試験科目の一部となります。また、私立大学の一般選抜において、試験科目として選択できる場合があります。				
授業内容	この科目では、現代における政治・経済・国際関係について深く学習し、様々な課題に対して自分の頭で考える力をつけることができます。 この科目を学習することによって、民主主義の本質に対する考え方が深まります。現代社会の課題を見つめ、公正に判断する力や良識ある行動ができる力と態度を身につけることができます。				
学習方法	授業では政治や経済、国際関係について体系的に学習します。それらの知識を実際に世の中で起きている出来事の中で確かめていくことが、この科目の力をつけるためには不可欠です。そのために新聞やテレビのニュース番組を見る習慣を身につけましょう。				
評価の観点	知識・技能	現代の政治・経済・国際関係に関する資料を適切に用い、基本的な事柄や概念、理論等を理解することができる。			
	思考・判断・表現	現代の政治・経済・国際関係の本質や特質について、多面的・多角的に考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	現代の政治・経済・国際関係に関する関心を高め、意欲的に課題を追究することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト等			
	思考・判断・表現	定期考査、ノート、課題等			
	主体的に学習に取り組む態度	小テスト、ノート、課題、授業時の態度等			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604100101	科目名	数学Ⅰ	単位数	3単位
履修年次	1年次	設置系列	自然科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	新編 数学Ⅰ (実教出版)			
	副教材	アクセスノート 数学Ⅰ (実教出版)			
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①必履修科目です。全員が履修します。				
	【補足】 国公立大学、私立大学(理系学部、一部の経済学部)、医療・看護系の専門学校志望者はこの科目で学習する内容が直接入試科目となります。				
授業内容	<p>中学校数学の「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」の4領域を継承した内容を学びます。具体的には以下のような内容になります。</p> <p>①数と式 ②図形と計量 ③二次関数 ④データの分析</p> <p>また、これらに加え課題学習を行い、応用問題に取り組んだり、自分の考えを説明したりする数学的活動を行っていきます。</p>				
学習方法	<p>内容が、中学校からの延長なので、家庭での学習時間を十分に確保し、予習・復習をきちんと行うことが必要です。</p> <p>特に、前半の内容は中学校の知識を必要とするので、「展開」「因数分解」「2次関数」の復習を行ってください。</p>				
評価の観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604110102	科目名	数学Ⅱ	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①「数学Ⅱ」と「数学B」はセットで履修してください。 ②理系大学進学を予定している生徒。 ③文系大学進学予定者で大学入学共通テスト等で「数学Ⅱ」が必要である生徒。 ④看護専門学校等で「数学」が必要である生徒。				
	【補足】 理系選択者は必ず選択してください。文系でも国立大学希望者は入試に大抵必要なので、自分の志望大学・学部・学科の入試科目をよく調べて選択してください。				
授業内容	本格的に高校数学の内容が含まれるようになります。「数学Ⅰ」に続く内容で構成されますが、いろいろな式、図形と方程式、三角関数・指数関数・対数関数など明確に定義された関数、及び微分・積分の考え方を学びます。数学的な見方や考え方が自然に身につきます。				
学習方法	<p>数学の力をつけるには、予習・復習がとても大切です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学ぶ準備として、数学Ⅰと数学Aの内容を十分に復習しましょう。 ・ 学んだその日にすぐ、もう一度問題を解きましょう(復習)。 ・ 教科書やノートの解答を見るだけではいけません。紙と鉛筆を使い、必ず問題を解きましょう。 ・ 問題を解く場合は、計算を省略しないで最後まで計算しましょう。 <p>数学を勉強していて、わからなかったことが、あるとき突然霧が晴れるようにわかることがあります。気持ちいいですね。是非味わってください。数学を学ぶことにより、数学そのものだけでなく、物事を論理的に考えるようになりましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・ 事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・ 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604120103	科目名	数学Ⅲ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	<p>数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>				
選択条件	<p>①「数学Ⅱ」が履修済みである生徒。 ②理系大学進学を予定している生徒。</p>				
	【補足】				
授業内容	<p>具体的には以下の内容を学びます。 ①極限 ②微分法 ③積分法 数列や関数の値の極限について学び、さらに微分法および積分法を理解することにより、その有用性を認識するとともに、それらの数学的な活動を通して数学的に考える資質・能力を育みます。</p>				
学習方法	<p>この科目では、数学Ⅰ・Ⅱ・A・Bの内容が出てきます。そのため、2年次までに学習した内容をしっかりと身につけておく必要があります。予習・復習を欠かさず、疑問点を後回しにせず、すぐ質問し解決していくなど、意欲的に学習に取り組んでください。</p>				
評価の観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604130101(1年) 604130103(3年)	科目名	数学A	単位数	2単位
履修年次	1・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新編 数学A (実教出版)			
	副教材	アクセスノート 数学A (実教出版)			
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	3年次の「数学A」は1年次に「簿記」を選択履修していた者のみ履修可能です。				
	【補足】 国公立大学、私立大学(理系学部、一部の経済学部)、医療・看護系の専門学校志望者はこの科目で学習する内容が直接入試科目となります。				
授業内容	<p>中学校数学の内容を踏まえ「数学Ⅰ」の内容等を補完するとともに、事象を数学的に考察する能力を養い、数学のよさを認識できるようにするため、以下の3つの内容で構成されています。</p> <p>①場合の数と確率 ②図形の性質 ③数学と人間の活動</p> <p>また、これらに加え応用問題に取り組んだり、自分の考えを説明したりする数学的活動を行っていきます。</p>				
学習方法	<p>「数学Ⅰ」と同様に、家庭での学習時間を十分に確保し、予習・復習をきちんと行うことが必要です。</p> <p>中学校数学の内容や「数学Ⅰ」で学習した内容を必要とするので、基礎的な知識や基本的な計算など理解しておいてください。</p>				
評価の観点	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 			
	思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 			
	主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。 			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604140102	科目名	数学B	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①「数学Ⅱ」と「数学B」はセットで履修してください。 ②理系大学進学を予定している生徒。 ③文系大学進学を予定している生徒で、大学入学共通テスト等にて、「数学B」が必要である生徒。 ④看護専門学校等で「数学」が必要である生徒。				
	【補足】 理系選択者は必ず選択してください。文系でも国立大学希望者は入試にほとんど必要なので、自分の志望大学・学部・学科の最新の入試要項で、入試科目をよく調べて選択してください。				
授業内容	本格的に高校数学の内容が含まれるようになります。「数学Ⅰ」「数学A」に続く以下の内容で構成されます。 1数列：規則性をもつ数の列に着目したものです。 2統計的な推測：確率分布や標本分布について学び、母集団の傾向を推測したり、標本調査の方法を学びます。				
学習方法	数学の力をつけるには、予習・復習がとても大切です。 ・学ぶ準備として、数学Ⅰと数学Aの内容を十分に復習しましょう。 ・学んだその日にすぐ、もう一度問題を解きましょう(復習)。 ・教科書やノートの解答を見るだけではいけません。紙と鉛筆を使い、必ず問題を解きましょう。 ・問題を解く場合は、計算を省略しないで最後まで計算しましょう。 数学を勉強していて、わからなかったことが、あるとき突然霧が晴れるようにわかるときがあります。気持ちいいですね。是非味わってください。数学を学ぶことにより、数学そのものだけでなく、物事を論理的に考えるようになりましょう。				
評価の観点	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604150103	科目名	数学C	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①「数学Ⅱ」が履修済みである生徒。 ②理系大学進学を予定している生徒。 ③文系大学進学を予定している生徒で、大学入学共通テスト等で「数学C」が必要である生徒。				
	【補足】 理系選択者は必ず選択してください。文系でも国立大学希望者は入試にほとんど必要なので、自分の志望大学・学部・学科の最新の入試要項で、入試科目をよく調べて選択してください。				
授業内容	具体的には以下の内容を学びます。 ①ベクトル ②平面上の曲線と複素数平面 ③数学的な表現の工夫 ベクトルや平面上の曲線および複素数平面について学び、その有用性を認識するとともに、それらの数学的な活動を通して数学的に考える資質・能力を身につけます。				
学習方法	この科目では、数学Ⅰ・Ⅱ・Aの内容が出てきます。そのため、2年次までに学習した内容をしっかりと身につけておく必要があります。予習・復習を欠かさず、疑問点を後回しにせず、すぐ質問し解決していくなど、意欲的に学習に取り組んでください。				
評価の観点	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数式化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604160102	科目名	数学 α	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材				
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①条件は特にありません。				
	【補足】 数学Ⅰ・Aの内容の確認および補充問題を行う。				
授業内容	【数学Ⅰ】 ①数と式・集合と論証 ②2次関数 ③図形と計量 ④集合と論証 ⑤データの分析 【数学A】 ①場合の数 ②確率 ③整数の性質 ④図形の性質				
学習方法	1年次に学習した内容なので、家庭での学習時間を十分に確保し、復習をきちんと行うことが必要です。 就職、専門学校を受験するものにとって、重要な基礎的内容です。特に「展開」「因数分解」「2次関数」の理解を深めて力をつけることを目標とします。				
評価の観点	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604170103	科目名	数学総合 I	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材				
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①大学進学希望者で大学入学共通テスト等で「数学 I」,「数学A」が必要な生徒。				
	【補足】 大学入学共通テスト対策として数学 I・Aの内容の確認および補充問題を行う。進路に必要な者だけ履修すること。				
授業内容	【数学 I】 ①数と式 ②図形と計量 ③2次関数 ④データの分析 【数学A】 ①図形の性質 ②場合の数と確率 ③数学と人間の活動 演習を通して数学的な見方・考え方を身につけ、数学的に考える資質・能力を育成します。				
学習方法	1年次に学習した内容なので、家庭での学習時間を十分に確保し、復習をきちんと行うことが必要です。入試の傾向として思考力を問われる問題が増えてきています。問題文を読む力、必要な情報を読み取る力、それらを用いてどの解法で解けばよいか判断する力が必要です。入試問題は難易度が高くなります。粘り強く考え、解けたときの達成感を味わいましょう。				
評価の観点	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	604180103	科目名	数学総合Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材				
到達目標	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。				
選択条件	①「数学Ⅱ」が履修済みである生徒。 ②大学進学希望者で大学入学共通テスト等で「数学Ⅱ」、「数学B」が必要な生徒。				
	【補足】	主にマーク形式で演習します。			
授業内容	【数学Ⅱ】 ①いろいろな式 ②図形と方程式 ③三角関数 ④指数・対数 ⑤微分・積分 【数学B】 ①数列 ②統計的な推測 ③数学的な社会生活 演習を通して数学的な見方・考え方を身につけ、数学的に考える資質・能力を育成します。				
学習方法	入試問題などの応用問題を取り扱います。十分な予習と復習が必要です。 ・必ず予習して問題を解きましょう。 ・復習でもう一度問題を解き、解けたかどうかを問題にチェックをしましょう。				
評価の観点	知識・技能	・数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	・数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	・数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとしたり、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断したりしようとしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしたりしている。			
評価方法	知識・技能	レポート・ノート 小テスト 定期考査			
	思考・判断・表現	レポート・ノート グループ活動 小テスト 定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動 授業に挑む態度 授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605110102	科目名	物理基礎	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高等学校 物理基礎(啓林館)			
	副教材	新課程版 セミナー物理基礎2023(第一学習社)			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら、物体の運動と様々なエネルギーについて理解するとともに、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	<p>①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の中から2年次までに3科目以上を必ず履修してください。</p> <p>②3年次で「物理」を選択する生徒。</p> <p>③理系大学(理学部・工学部等)進学希望者で、入試で物理が必要な生徒。</p> <p>④医療系進学希望者で、将来放射線技師等に就職する場合は履修することが望ましいです。</p> <p>⑤理工系進学希望者で、将来コンピューター技師・土木系技師等に就職する場合は履修することが望ましいです。</p>				
	<p>【補足】 理学部物理学科、工学部応用物理学科、工学部建築学科等、物理が入試科目にある場合は必ず選択してください。</p>				
授業内容	<p>①講義と問題演習が中心となる。</p> <p>②「物体の運動とエネルギー」では、まず速度、加速度(速度の変化)、仕事、エネルギー(仕事をする能力)について学習する。</p> <p>③「さまざまな物理現象とエネルギー」では熱エネルギーや振動と波、電気、磁気について学習する。</p> <p>④データをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。</p>				
学習方法	<p>①自然現象に興味を持ち、いつも「なぜだろう?」と疑問を持つこと。</p> <p>②量的な取り扱いが必要になるので計算力を身につけ、効率よく計算することができるようになること。</p> <p>③基礎的な数学の知識が必要になるので、数学の授業に熱心に取り組むこと。</p> <p>④3年間の学習計画の中に「物理基礎」をしっかりと位置づけ、十分な学習時間を確保することによって計画的な学習を行うこと。</p>				
評価の観点	知識・技能	自然現象には原理や法則があることを理解し、定量的に考察するために、概念を定義し利用したり、実験したりすることができる。			
	思考・判断・表現	さまざまな物理現象を論理的に分析・解決でき、さまざまなデータや実験結果に基づいて論理的に分析し、科学的に自分の言葉で表現ができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然現象に関心をもち、科学的な視点で授業に意欲的に参加し、見通しをもったり振り返ったりするなど論理的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、実験・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、実験・観察、授業中の活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、実験・観察、授業中の活動・態度、定期考査			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605120103	科目名	物理	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	改訂版 総合物理1 力と運動・熱 改訂版 総合物理2 波・電気と磁気・原子			
	副教材	セミナー物理基礎+物理 2023(第一学習社)			
到達目標	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、見通しをもって観察、実験などを行い、物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	①物理基礎を履修済みの生徒。 ②理系大学で理科で物理を選択する生徒。特に工学部では物理必修の学科が多いです。 ③数ⅡBを履修することが望ましいです。関数、三角関数、微分・積分、ベクトルなどを使います。				
	【補足】	医療系は基礎まででよければ、選択する必要はありません。			
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習よりも復習中心になり、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。 ②「波」、「電気と磁気」では、観察や実験などを通して探求し、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できるように学習していきます。 ③「さまざまな運動」では運動やエネルギーについて基礎的な考え方にに基づき、力と運動に関する概念や原理・法則を理解し、それらを活用できるようにしていきます。				
学習方法	①計算力が必要になるので、数学に熱心に取り組んでください。また、できるだけ多くの演習問題に取り組んでください。 ②大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、物理基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。 ③物理の選択者は、最終的に物理を受験科目とする場合が多いので、3年間の学習計画を意識し十分な学習時間を確保してください。				
評価の観点	知識・技能	自然現象には原理や法則があることを理解し定量的に考察するために、概念を定義し利用したり、実験したりすることができる。			
	思考・判断・表現	物理現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然現象に関心をもち、科学的な視点で授業に意欲的に参加し、論理的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、実験・観察、ノート、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、実験・観察、授業中の活動、ノート、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、実験・観察、ノート、授業中の活動・態度、定期考査			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605130101(1年) 605130102(2年)	科目名	化学基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高等学校 化学基礎(第一学習社)			
	副教材	新課程 プログレス化学基礎			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら物質とその変化への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2年次までに3科目以上が必履修となります。 ②「化学」を選択するには、化学基礎を履修しておかなければなりません。 ③医療系、管理栄養士・栄養士、調理師、美容・理容師などの進路希望の生徒。 ④危険物取扱者試験を受験する生徒。 ⑤食品化学を選択する生徒。				
	【補足】 理系大学進学で、「化学」を受験科目とする場合、1年次で「化学基礎」、2年次で「化学」を選択することが望ましいです。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。 ②「物質の成り立ち」では原子、分子、イオンなどの粒子の構造について学習します。 ③「物質の変化」では物質と化学反応式、中和反応、酸化還元反応(電池や電気分解を含む)を学習します。				
学習方法	①物質を構成している粒子の種類と、その結合をまず学習します。ここでは、物質を粒子の集合体と考え、粒子観を身につけます。 ②化学反応によって何ができるかだけでなく、どのくらいの量の物質が生成したり消費されたりするのかを計算で求めます。日頃から計算機を使わずに計算するようにしましょう。 ③物質の変化については、酸・塩基の反応と酸化還元反応について学習します。身近な変化について関心を持ち、理論的に考えることが大切です。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605140102(2年) 605140103(3年)	科目名	化学	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	第一学習社 高等学校 化学			
	副教材	新課程 化学基礎+化学 セミナー			
到達目標	化学的な事物・現象に対する探究心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、化学的に探究する能力と態度を育てるとともに、化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的な自然観を育成する。				
選択条件	①化学基礎を履修済みの生徒。 ②理系大学進学で理科で化学を選択する生徒。 ③国公立大学文系で大学入学共通テストの理科で化学を選択する生徒。 ④看護医療系で理科で化学を選択する生徒。 ⑤管理栄養士を目指している生徒。				
	【補足】 国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択すること。 看護医療系は基礎まででよければ、選択しなくてもよい。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習よりも復習中心になり、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。 ②化学反応式の量的関係を利用して反応熱を求めることから、ヘスの法則を利用して反応熱を求めるところまで発展します。 ③化学的内容をいくつか関連付けて問題を解いていきます。				
学習方法	①教科書の内容は化学基礎よりも高度で、計算が多いので、授業で学習した範囲の問題を自分で積極的に解き、分からない問題を質問して実力をつけましょう。 ②覚えた事項をどう使うかの学習なので、暗記すべき事項は確実に覚えましょう。 ③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、化学基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605150101(1年) 605150102(2年)	科目名	生物基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	新編 生物基礎(数研出版)			
	副教材	新編 生物基礎準拠サポートノート			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	①物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎から2年次までに3科目以上が必履修です。 ②「生物」を選択するには、生物基礎を履修しておかなければなりません。 ③大学入試に対応できます。特に、医療・看護系、生物・農学分野への進学を希望する生徒は必ず履修してください。				
	【補足】 医療系・生物・農学分野への進学を希望する生徒は必ず履修してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。 ②「生物の特徴」、「遺伝子とそのはたらき」、「生物の体内環境の維持」、「生物の生態系と多様性」など生物の基礎を学びます。				
学習方法	①生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ②細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解する。 ③生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識する。 ④生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605160102(2年) 605160103(3年)	科目名	生物	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択
使用教材	教科書	生物(数研出版)			
	副教材	リードLightノート生物			
到達目標	生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。				
選択条件	①「生物」を選択するには、生物基礎を履修しておかなければなりません。 ②大学入試に対応できます。特に、医療・看護系、生物・農学分野への進学を希望する生徒は必ず履修してください。				
	【補足】 国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択してください。 看護医療系は基礎まででよければ、選択する必要はありません。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。 ②「生物の進化」、「生命現象と物質」、「遺伝情報の発現と発生」、「生物の環境応答」、「生態と環境」について学びます。				
学習方法	①生物基礎よりも高度で、深い学びが必要なので授業当日に復習を心掛けてください。 ②暗記すべき事項は確実に覚えましょう。 ③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、生物基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605170101(1年) 605170102(2年)	科目名	地学基礎	単位数	2単位
履修年次	1・2年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高等学校 地学基礎(数研出版)			
	副教材	新課程 リードLightノート 地学基礎(数研出版)			
到達目標	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験を行い、科学的に探求しようとする態度と環境保全に寄与する態度を養う。				
選択条件	①「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」、「地学基礎」の中から2年次までに3科目以上を必ず履修してください。 ②2年次以降「地学」を選択する生徒。 ③大学等への進学希望者で、入試で地学が必要な生徒。 ④火山・地震・気象・宇宙など地学的事象に興味・関心がある場合は履修してください。				
	【補足】 共通テストを地学で受験する場合や理学部地球科学科等、地学が入試科目にある場合は必ず選択すること。				
授業内容	①講義と問題演習が中心となる。 ②データーをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。 ③講義と問題演習の内容は次のとおり。 ・地球の形と大きさ・地球を構成する物質 ・火山活動・地震活動・プレートテクトニクス ・大気の種類・海水の種類・地球のエネルギー収支 ・大気中の水蒸気と天気の変化・気象現象 ・太陽系の構成・太陽系の誕生と進化・恒星の特徴・宇宙と銀河				
学習方法	①教科書を読み、用語の意味を理解する。 ②よくわからない部分があれば授業で質問する。 ③授業の内容を確認し、重要事項を覚える。 ④その日の授業内容に対応する問題を解く。 ⑤科学に関するニュースについて調べる。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録等の技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、ノート、実験・観察、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、ノート、グループ活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、ノート、グループ活動、授業時の態度、実験・観察、定期考査			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605180102(2年) 605180103(3年)	科目名	地学	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高等学校 地学			
	副教材	なし			
到達目標	地学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、見通しをもって観察、実験などを行うことを通して、科学的に探求しようとする態度と自然環境の保全に寄与する態度を養う。				
選択条件	①「地学基礎」を履修している生徒。 ②大学等への進学希望者で、入試で地学が必要な生徒。				
	【補足】 理学部地球科学科等、地学が入試科目にある場合は必ず選択してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心となる。 ②データーをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。 ③学習内容は地学基礎と同じだが、地学基礎で「発展」「参考」とされている内容も含めてより深く学習する。 例えば「重力」、「ジオイド」、「地磁気」、「アイソスタシー」、「走時曲線」、「ケイ酸塩鉱物」、「固溶体」、「地質図」、「放射性同位体」、「電離層」、「大気安定・不安定」、「氷晶雨」、「地衡風」、「高層天気図」、「絶対等級」、「スペクトル型」、「HR図」、「星の種族」、「宇宙の膨張」など。				
学習方法	①教科書を読み、用語の意味を理解する。 ②よくわからない部分があれば授業で質問する。 ③授業の内容を確認し、重要事項を覚える。 ④その日の授業内容に対応する問題を解く。 ⑤科学に関するニュースについて調べる。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録等の技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、ノート、実験・観察、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、ノート、グループ活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、ノート、グループ活動、授業時の態度、実験・観察、定期考査			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605190103	科目名	自然と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	物理学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、見通しをもって観察、実験などを行い、物理的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探求しようとする態度を養う。				
選択条件	①2年次までに物理基礎を履修済みの生徒。 ②理系大学で理科で物理を選択す生徒。特に工学部では物理必修の学科が多いです。 ③数学Ⅰ・A、数学Ⅱ・Bを履修済みの生徒。				
	【補足】 必ず『物理』4単位と『自然と科学』2単位を合わせて履修し、課外の物理も必ず受講してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習・復習を行い、練習問題を板書し、発表します。さらに、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していくようにします。 ②「力学」、「熱」、「波動」、「電磁気」、「原子」の5つの分野を取り扱い、それらを日常生活や社会と関連づけて考察できるように学習していきます。具体的には、物理基礎・物理の内容を含む総合演習を行います。 ③大学入学共通テストや4年制理系大学進学等を意識して、難問に取り組み、入試に対応できる実力の養成を図ります。				
学習方法	①基礎的な数学Ⅰ・A、Ⅱ・B、Ⅲの内容を使用するので、数学に対しても熱心に取り組んでください。 ②物理は、数多くの演習問題に取り組むことで、実力が養成されます。手を動かし、自分自身で考えながら問題に取り組んでください。 ③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、物理基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。 ④分からない場合は、その日のうちに授業担当者に質問に行きましょう。				
評価の観点	知識・技能	自然現象には原理や法則があることを理解し定量的に考察するために、概念を定義し利用したり、実験したりすることができる。			
	思考・判断・表現	物理現象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然現象に関心をもち、科学的な視点で授業に意欲的に参加し、論理的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、ノート、実験・観察、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、ノート、グループ活動、実験・観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、ノート、グループ活動、授業時の態度、実験・観察、定期考査			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605200103	科目名	物質と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	標準セミナー 化学基礎(第一学習社)			
到達目標	物質とその変化に主体的に関わり、日常生活や社会との関連を図りながら、見通しをもって観察、実験を行い、科学的に探求しようとする態度を養うとともに、受験に必要な知識を身に付ける。				
選択条件	①「化学基礎」を履修している生徒。 ②大学等への進学を希望する生徒で、入試で「化学基礎」、「化学」が必要な者は、3年次で必ず選択して履修してください。				
	【補足】 国公立大学文系は基礎科目2科目でも受験できるので、よく考えて選択すること。 看護医療系は基礎まででよければ、選択しなくてもよい。				
授業内容	①化学基礎の内容をより発展的に学習します。講義と問題演習が中心になります。 ②化学的内容をいくつか関連づけて問題を解いていきます。 ③実験実習を行い実験操作の内容を確認していきます。				
学習方法	①問題集の内容は高度で、計算が多いので、授業で学習した範囲の問題を自分で積極的に解き、分からない問題を質問して実力をつけましょう。 ②覚えた事項をどう使うかの学習なので、暗記すべき事項は確実に覚えましょう。 ③大学進学を目指す人は、定期考査の範囲の問題を理解するだけでなく、化学基礎の内容との関連を考えて、総合的に学習することを心がけましょう。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録等の技能を身に付けているか。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探求しているか。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探求しようとしているか。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト、提出物、ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表、提出物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605210103	科目名	生命と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択
使用教材	教科書	なし			
	副教材	四訂版 リードLightノート生物基礎（数研出版）			
到達目標	日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象への関心を高め、目的意識をもって観察、実験などを行い、生物学的に探究する能力と態度を身につけるとともに、生物学の基本的な概念や原理・法則を理解し、科学的な見方や考え方を養う。				
選択条件	①「生物基礎」を履修している生徒。 ②大学等への進学希望者で、入試で「生物基礎」、「生物」が必要な生徒は、3年次で必ず選択して履修してください。				
	【補足】 「生物基礎」または、「生物」が入試科目にある場合は、3年次で必ず選択して履修してください。				
授業内容	①講義と問題演習が中心になります。予習はほとんど必要ありませんが、宿題や小テストで授業の内容を確実に理解していきます。 ②「生物の特徴」、「遺伝子とそのはたらき」、「生物の体内環境の維持」、「生物の生態系と多様性」など生物の基礎を学びます。				
学習方法	①生物の体を構成する共通の基本単位である細胞の構造とはたらきを学び、生命活動に必要なエネルギーと代謝について理解する。 ②細胞の働き及びDNAの構造と機能の概要を理解する。 ③生物には体内環境を維持する仕組みがあることを理解し、体内環境の維持と健康との関係について認識する。 ④生態系の成り立ちを理解し、その保全の重要性について認識する。				
評価の観点	知識・技能	自然の事物・現象についての概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの技能を身に付けている。			
	思考・判断・表現	自然の事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。			
	主体的に学習に取り組む態度	自然の事物・現象に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	605220103	科目名	地球と科学	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	自然科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	地球や地球を取り巻く環境に主体的に関わり、日常生活や社会との関連を図りながら、観察、実験を行い、科学的に探求しようとする態度と環境保全に寄与する態度を養う。				
選択条件	①「地学基礎」を履修している生徒。 ②大学等への進学を希望する生徒で、入試で「地学基礎」または「地学」が必要な生徒は、3年次で必ず選択して履修してください。				
	【補足】 理学部地球科学科等、入試で「地学」または「地学基礎」が必要な生徒は、3年次で必ず選択して履修すること。				
授業内容	①地学基礎の内容のうち、地震・火山・岩石・地層・化石の知識を応用し、激しい地殻変動が多発する日本列島の自然を地球科学的に理解していく。 ②講義と問題演習が中心となる。 ③データをグラフ化したり、グラフから関係を読み取ったりすることが多い。				
学習方法	①教科書を読み、用語の意味を確認する。 ②よくわからない部分があれば授業で質問する。 ③授業の内容を確認し、重要事項を覚える。 ④その日の授業内容に対応する問題を解く。 ⑤科学に関するニュースについて調べる。				
評価の観点	知識・技能	地球や宇宙についての様々な事象を科学的に理解し、事象の関するデータを図や表にまとめる事ができる。			
	思考・判断・表現	地球や宇宙についての様々な事象を科学的観点から考察し、導き出した考えを的確に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	地球や宇宙についての様々な事象に主体的に関わり、課題意識を高め、意欲的に追及することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・提出物・ワークシート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	606100101(1年) 606100102(2年) 606100103(3年)	科目名	体育	単位数	1年次(3単位)・2年次(2単位) 3年次(3単位)
履修年次	1～3年次	設置系列		履修条件	必履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	体づくり運動を通して、自己の体力向上に必要な方法を探究できるようになる。 選択授業を通して、安全面に留意し、仲間を意識することの大切さやコミュニケーション能力を身につける。				
選択条件	1・2・3年次は全員選択します。				
	【補足】				
授業内容	<p>①自己の課題に応じた運動を生活の中で実践することができるように、体ほぐしや体力を高める運動を学びます。</p> <p>②体育大会に向けて、集団行動や新世体操を学びます。</p> <p>③自己の記録に挑戦しながら、課題解決の方法を学びます。</p> <p>④各球技種目の特性や効果的な練習法、正しい審判法、ゲームの運営などについて学びます。</p> <p>⑤相手の動きや「技」に応じたの攻防を学び、武道の伝統的な考え方や礼儀作法について学びます。</p> <p>⑥表現したいテーマをグループで工夫したり、現代的なリズムに合わせてリズムの取り方や動き方、隊形の工夫の仕方を学びます。</p> <p>⑦生涯にわたる豊かなスポーツライフのための科学的な知識などを学びます。</p>				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から体調管理をしっかり行い、授業を休まないようにしましょう。 ・服装については体育服を着用しますが、タオルや手袋など健康に配慮したものについては、事前に相談し準備しておきましょう。 ・日頃から身体や健康について関心を持ちましょう。(テレビなどでよく特集などがあってるので見るようにしてください。) ・特に高校生のこの時期は、人生で最も身体が発達する時期なので日頃からトレーニングなどを行いましょう。(運動部への加入が最も有効です。また、ジムや運動教室などに通うのもよいでしょう。) ・この授業で目的を達成するためには、授業に積極的に参加することが最大の条件です。 				
評価の観点	知識・技能	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したり、運動の特性に応じた段階的な技能を身につけることができる。			
	思考・判断・表現	自己や仲間の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫したり、体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう公正・協力・責任などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して学習に主体的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・スキルテスト			
	思考・判断・表現	授業中の活動・個人カード			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	606110101(1年) 606110102(2年)	科目名	保健	単位数	1年次(1単位)・2年次(1単位)
履修年次	1・2年次	設置系列		履修条件	必履修
使用教材	教科書	現代高等保健体育(大修館)			
	副教材	現代高等保健体育ノート(大修館)			
到達目標	健康・安全について探究し、知識・理解を深め、的確な思考・判断に基づいて適切な意思決定を行い、健康的な生活行動の選択が実践できるような力を身につける。				
選択条件	1・2年次は全員選択します。				
	【補足】				
授業内容	①現代社会と健康 ②安全な社会生活 ③生涯を通じる健康 ④健康を支える環境づくり				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から社会の動きに注意を向け、テレビや新聞、雑誌などを通して健康に関する話題に目を向ける習慣を身につけましょう。 ・講義型の授業では、知識を習得するだけでなく、身近な問題としてとらえ将来に役立てるようにしましょう。 ・グラフを読み取る力をつけましょう。 				
評価の観点	知識・技能	健康の保持増進・管理・環境改善のための基礎的な事項や健康課題の解決に役立つ適切な対応及び保健医療制度や機関の活用など基礎的な事項を理解している。			
	思考・判断・表現	健康を保持増進するための健康課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表すことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりについて関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・ワークシート			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・ノート・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	606120102(2年) 606120103(3年)	科目名	レクリエーション	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	本授業では、レクリエーションの必要性を、基礎理論の学習を通して理解し、施設などでのイベント等の企画・運営及びその指導法を演習や実技によって修得することを目指します。				
選択条件	①授業で学んだ内容をもとに、学童保育所等に、実習を行いに行きます。幼児教育・社会福祉・健康づくり等の分野に興味・関心がある生徒に履修を勧めます。				
	【補足】 保育・幼児教育・初等教育・養護教員学等の教育系統に進む生徒が対象です。				
授業内容	①レクリエーションの社会的意義・概念・領域を理解し、実際の支援法を体系的に学びながら、各分野におけるレクリエーション計画の策定及び実施に必要な支援法を学びます。 ②長期休業中に学童保育所等でレクリエーション実習を実施します。				
学習方法	この授業を通して、レクリエーションの支援者としての資質を身につけて欲しいと考えています。地域のイベント等に積極的に参加しましょう。また、ボランティア活動として指導者や運営の手伝いに参加しましょう。 将来的にレクリエーション・インストラクター、レクリエーション・コーディネーター、福祉レクリエーション・ワーカー、グループレクリエーション・ワーカー等の資格取得にチャレンジしてください。				
評価の観点	知識・技能	授業中に学んだ知識を活かし、自分自身がレクリエーションの企画・運営を実施する実践力を身につけることができる。			
	思考・判断・表現	対象者に応じたレクリエーションの取り組み方や、それを楽しむための計画を工夫することができる。また、課題解決の中で安全について配慮することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	多様なレクリエーションやニュースポーツを通して、合理的・計画的に実践し、主体的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・考査・実習			
	思考・判断・表現	授業中の活動・ワークシート・レポート・実習			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・実習			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607100101	科目名	音楽Ⅰ	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	MOUSA ①(教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅰにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰ・美術Ⅰ・書道Ⅰの中から1科目選択し、履修します。 ②授業では様々なジャンルの曲を学習し、歌う力・楽譜を読む力を伸ばしながら豊かな表現力を身につけます。				
	【補足】				
授業内容	①腹式呼吸、発声法など基本から学びます。 ②ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ③曲の雰囲気に応じた表現を学習します。 ④楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、アンサンブルに触れる喜びを体験します。 ⑤楽典、音楽史に関する理論を学びます				
学習方法	音楽の力をつけるためには、日頃から音楽に「親しむ」ことが大事です！ 積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①世の中にはたくさんの音楽であふれています。日頃から、生活や社会の中で流れる音楽に、耳を傾けましょう。				
評価の観点	知識・技能	歌唱・器楽などの技術向上の基礎知識を学ぶ。簡単な楽譜を読む力を身につけ、器楽実技への取り組みを容易にする。			
	思考・判断・表現	自己のイメージを膨らませたり、他者のイメージに共感したりして音楽を形作っている要素や音楽の働かせ方について考える。また意図をもって表現をする。			
	主体的に学習に取り組む態度	様々な音楽活動を通して音楽や音楽文化に関心をもち、学習に主体的に取り組もうとしている。			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607110102(2年) 607110103(3年)	科目名	音楽Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	MOUSA ②(教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽 (啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅱにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰを履修した生徒。 ②音楽Ⅰ同様、様々なジャンルの曲を学習し、豊かな表現力を身につけます。より深い音楽の知識を、幅広く学習します。				
	【補足】 音楽関係や保育科に進学を希望する者は選択して下さい。				
授業内容	①ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ②曲の歌詞を理解し、豊かな表現法を学習します。 ③楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、奏法を学びます。 ④楽典、音楽史に関する理論を学びます。				
学習方法	積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①歌唱力の向上を目指すには、常日頃から歌うことが大事です。音楽Ⅰで習得した発声法を、日頃から使って歌いましょう。 ②音楽には、たくさんのジャンルがあります。ジャンルにとらわれず、様々な音楽を聞きましょう。				
評価の観点	知識・技能	歌唱・器楽などを通して音楽の構造や音楽の多様性について理解を深めるとともに、音楽表現をするために必要な技能を身につける。			
	思考・判断・表現	個性豊かに音楽表現を創意工夫することや音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができるようになる。			
	主体的に学習に取り組む態度	様々な音楽に主体的に関わり、愛好する心情を育むとともに感性を高め、音楽文化に親しみ、生活や社会を明るく豊かにしていこうとする。			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607110103	科目名	音楽Ⅲ	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	Joy of Music (教育芸術社)			
	副教材	MUSIC NOTE 基礎から学ぶ高校音楽(啓隆社)			
到達目標	音楽の幅広い活動を通して音楽Ⅲにおける見方考え方を働かせ生活や社会の中の音楽や音楽文化と関わる資質能力を育成する。				
選択条件	①音楽Ⅰ・Ⅱを履修した生徒。 ②音楽Ⅰ・Ⅱ同様、様々なジャンルの曲を学習し、豊かな表現力を身につけると共に、曲想を生かした表現を学びます。				
	【補足】 音楽関係や保育科に進学を希望する生徒は選択して下さい。				
授業内容	①ポピュラー音楽、日本の伝統歌唱、外国の音楽など様々なジャンルの曲をバランスよく歌唱します。 ②曲の構成・曲想を生かした表現を学習します。 ③楽器(ギター・キーボード等)の技能を高め、奏法の工夫を学びます。 ④楽典、音楽史に関する理論を学びます。				
学習方法	本当に音楽が好きな人は、ぜひ履修してください！ 積極的に授業に参加し、音を大事にしながら音楽を楽しみましょう！ ①音楽Ⅰ・Ⅱの集大成なので、歌いたい曲や弾きたい曲があれば挑戦してみましよう。そのために、日頃からたくさんの音楽を聞きましょう。 ②音楽は、表現することが大事です。好きな曲の歌詞をよく読み、思ったことを表現してみましよう。				
評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の構造や文化的歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解し創意工夫や表現上の効果を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につける。			
	思考・判断・表現	音楽に関する知識や技能を総合的に働かせながら個性豊かに音楽表現を創意工夫したり音楽を評価しながら良さや美しさを深く味わって聴くことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に様々な音楽活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かにしていく態度を養う			
評価方法	知識・技能	実技テスト・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度・提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607130101	科目名	美術 I	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	高校生の美術1 (日文)			
	副教材	なし			
到達目標	造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を育成する。				
選択条件	①美術系の4年制大学・短大・専門学校進学希望者は、音楽 I、書道 I ではなく、できるだけ美術 I を選択したほうがいいでしょう。 ②「絵画・彫刻」、「デザイン」、「映像メディア」、「鑑賞」に関心があり、積極的に取り組み、自己表現力を高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 美術系の進学の場合、実技試験が課せられる場合が多いので、できるだけ選択をしてください。				
授業内容	①基礎・基本としてのデッサンを学びます。 ②デザインの基礎を学びポスターを描き、コンクール等に出品します。 ③立体表現として、彫刻の中の塑像を学びます。 ④構想表現的な絵画を制作します。 ⑤鑑賞の授業を行い、美術の楽しみ方を学びます。				
学習方法	集中力を身につけましょう。良い作品を作るには「アイデアノート」を作り、常にアンテナを張り、アイデアをメモする習慣をつけましょう。 ①謙虚な気持ちで自然から学ぶ心を持ちましょう。 ②すべて観察するところからアイデアが浮かびます。自然はもちろん世の中のことにも関心を持ちましょう。 ③作品制作は、丁寧に誠実な気持ちで取り組みましょう。 ④自分の頭の中で考えただけではアイデアは浮かびません。展覧会、コンサート、演劇、読書など芸術作品に触れる機会を多く作りましょう。				
評価の観点	知識・技能	発想の元になる資料を多方面から収集し著作権法を認識し技法を活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本、東洋、西洋の美術史や技法について理解し、自作作品及び鑑賞作品を、製作意図、技法などから考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	授業内容に関心を持ち真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	(制作作品、レポート)			
	思考・判断・表現	(授業中の活動、作品、発表、提出物)			
	主体的に学習に取り組む態度	(授業中の活動、提出物)			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607140102(2年) 607140103(3年)	科目名	美術Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	高校生の美術 2 (日文)			
	副教材	なし			
到達目標	造形的な見方・考え方を働かせて、美的体験を重ね生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力を育成する。				
選択条件	①美術系の4年制大学・短大・専門学校進学希望者は、できるだけ美術Ⅱを選択したほうが良いでしょう。 ②美術Ⅰの履修後選択できます。「絵画・彫刻」、「デザイン」、「映像メディア」、「鑑賞」に関心があり、積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 美術系の進学の場合、実技試験が課せられる場合が多いので、できるだけ選択をしてください。				
授業内容	①基礎・基本としてのデッサン及び美術を楽しむスケッチを学びます。 ②抽象と具象の違いを学びます。抽象の基本表現を学び抽象画を描きます。 ③工芸デザインとして切り絵を制作します。 ④アジアや日本美術を調べ学習として学び、発表します。 ⑤日本画入門として水墨画を描きます。 ⑥鑑賞の授業を行い、美術の楽しみ方を学びます。 ⑦映像メディアを学びます。				
学習方法	集中力を身につけましょう。良い作品を作るには「アイデアノート」を作り、常にアンテナを張り、アイデアをメモする習慣をつけましょう。 ①謙虚な気持ちで自然から学ぶ心を持ちましょう。 ②すべて観察するところからアイデアが浮かびます。自然はもちろん世の中のことにも関心を持ちましょう。 ③作品制作は、丁寧に誠実な気持ちで取り組みましょう。 ④自分の頭の中で考えただけではアイデアは浮かびません。展覧会、コンサート、演劇、読書など芸術作品に触れる機会を多く作りましょう。				
評価の観点	知識・技能	発想の元になる資料を多方面から収集し、著作権法を認識し技法を活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本、東洋、西洋の美術史や技法について理解し、自作作品及び鑑賞作品を、製作意図、技法などから考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	授業内容に関心を持ち真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	制作作品、レポート			
	思考・判断・表現	授業中の活動、作品、発表、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607190101	科目名	書道 I	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	書 I (光村)			
	副教材	なし			
到達目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①芸術では、音楽 I・美術 I・書道 I の中から必ず1科目選択して履修する必要があります。 ②書に興味があり、書を通して自己を主体的に表現し、自己表現力を高めたい生徒。 ③美しい文字を書き、感性を高め、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 書道での進学を希望する場合は、必ず選択してください。				
授業内容	小・中学校で身に付けた書写能力(文字を正しく整えて読みやすく書くこと)をさらに向上し、「書道 I」では「表現」と「鑑賞」の二つの視点から学習していきます。 主な学習内容 ①漢字仮名交じりの書(漢字と仮名を調和して書くこと。) ②漢字の書(楷書・行書)、篆刻 ③仮名の書 ④作品制作				
学習方法	「書」は心の中にある風景をスケッチすることです。一つひとつの作品を大切な人へのメッセージと思い、表現してください。 ①書の手具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②文字の形にとらわれず、文字の意味や自分の思い描く心を大切に作る。 ③日頃から社会に目を向け、芸術作品、新聞や雑誌を見て感性を高める。 ④ことばとの出会いを大切に、日頃から心に残る言葉を書き留めておく。				
評価の観点	知識・技能	古典が制作された概要や時代ごとの書体、用筆法の変遷を理解し特徴的な字形や用筆法などを正確に臨書することができる。			
	思考・判断・表現	古典作品の諸要素や雰囲気を感じ取り、また技法等を正しく活用しながら、それに基づいて自分の書の表現に取り入れることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で書の表現や鑑賞の創意工夫に意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607200102(2年) 607200103(3年)	科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	書Ⅱ(光村)			
	副教材	なし			
到達目標	書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①「書道Ⅱ」は「書道Ⅰ」を履修済みの人が履修することができます。 ②書に興味・関心があり、書道Ⅰで学んだ基礎的な能力をさらに伸ばし、作品制作を通して、個性豊かな表現力を身につけたい生徒。 ③美しい文字を探求し、さらに感性を高め、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 書道での進学を希望する場合は、必ず選択してください。				
授業内容	「書道Ⅱ」では「書道Ⅰ」の学習を基礎にして、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばしていきます。 主な学習内容 ①漢字仮名交じりの書 ②漢字の書(篆書、隸書、草書、行書、楷書)、篆刻(刻字) ③仮名の書 ④作品制作				
学習方法	「書」は書く人により、また、書く時の感情や環境により、さまざまな表情をします。その表情を感じとることが大切です。 ①書の用具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②文字の形にとらわれず、文字の意味や自分の思い描く心を大事にする。 ③日頃から社会に目を向け、芸術作品、新聞や雑誌を見て、感性を高める。 ④自分の中から湧き出る言葉を常に書き留めておく。				
評価の観点	知識・技能	古典が制作された概要や時代ごとの書体、用筆法の変遷を理解し特徴的な字形や用筆法などを正確に臨書することができる。			
	思考・判断・表現	古典作品の諸要素や雰囲気を感じ取り、また技法等を正しく活用しながら、それに基づいて自分の書の表現に取り入れることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統と文化に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で書の表現や鑑賞の創意工夫に意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607220102(2年) 607220103(3年)	科目名	ヴォーカルアンサンブル	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	様々なジャンルの曲にふさわしい、豊かな発声法を身に付ける。諸活動に主体的・協働的に取り組むことで、自分の声を知り、音楽を愛好する心情を育む。また歌うことによって生活を明るく豊かにしていこうする。				
選択条件	①将来、音楽を必要とする職業に携わろうと思っている、音楽を趣味として生活に取り入れていきたいという生徒は選択を勧めます。				
	【補足】 将来、音楽を必要とする職業に携わろうと思っている、音楽を趣味として生活に取り入れていきたいという生徒は選択を勧めます。この科目では、1年次で「音楽Ⅰ」を履修しておくことが望ましいですが、個人のこれまでの音楽経験等によってはこの限りではありません。音楽の中でも、歌を歌うことに限定してテクニックや表現力を身に付ける授業ですので、歌うことが好き、歌がうまくなりたい人は履修してください。まずは一人一人のヴォーカル力やリズム感覚を高めることから始めます。確実な音程はもちろん、曲のメロディーや詩の持つ世界感を表現できるように身体やを使って声をコントロールできるようにトレーニングします。そののち気持ちよく「ハモる」ことの実践を目指していきます。				
授業内容	①腹式呼吸や発声の基礎を学ぶことで、喉に負担をかけずしっかり身体を使って声を出すことを身に付ける。 ②自分の音域を知り、練習曲等の課題を通じてその幅を徐々に広げていく。(身体を使っての歌唱を続けることで、音域は広がっていく) ③曲を歌いながら、言葉の扱い方や表現方法、リズムの感覚を身に付けると同時に、マイクの扱い方を覚える。 ④歌唱に慣れてきたら、簡単なハーモニー練習から始めて、ハモる感覚を覚えていく。 ⑤簡単なステップを取り入れることで、リズム感をさらに高め、表現の幅を広げる。				
学習方法	自分の声の特徴を知って、それを生かし歌うことができるようになると、自己表現の幅が徐々に広がります。一人で歌うのは恥ずかしいな、という気持ちも、積極的に練習を重ねることで大きな自信につながっていきます。そして気持ち良くハモることを練習・体感することでコミュニケーション力もアップします。実技の授業ですので、前向きに楽しむことを第一に参加してください。				
評価の観点	知識・技能	曲想と音楽の多様性について理解を深めるとともに創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な技能を身につけている。			
	思考・判断・表現	曲の構成や歌詞の内容を深く理解し、それに合った歌唱表現を行う。個性豊かに音楽表現を創意工夫し、音楽の良さや美しさを深く味わって聴くことができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的・協働的に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに感性を高め、歌うことによって生活や社会を明るく豊かにしていこうとしている。			
評価方法	知識・技能	実技テスト			
	思考・判断・表現	授業中の態度			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607230103	科目名	有明の伝統工芸	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	地域文化	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	工芸の造形的な見方考え方を働かせて、工芸的体験を深め、生活や社会の中の美術や地域の工芸文化と深くかかわる資質能力を身につける。				
選択条件	①有明地域文化に、興味・関心がある生徒。 ②座学と鑑賞、調べ学習、実技体験に関心がある生徒。 ③積極的に取り組み、自己表現力をさらに高めたいと考えている生徒。				
	【補足】 特に美術系の進学でなく地域文化に関心があり、その方面の進学を考えている生徒は、できるだけ選択をしてください。進学以外に地域文化に関心がある生徒も選択をしてください。				
授業内容	①伝統的工芸品とは何かをまず学びます。(経産大臣指定、県知事指定) ②大牟田の民・工芸品について学びます。 ③瀬高・柳川・大川の民・工芸品について学びます。 ④筑後・八女の民・工芸品について学びます。 ⑤久留米・三潁の民・工芸品について学びます。 ⑥赤坂人形、黒埼ガラガラ、雉車、押し花などから選択して実技を行います。 ⑦工芸職人の特別授業があります。 ⑧八女伝統工芸館、久留米緋工房の見学に行きます。				
学習方法	①地域文化に関心を持って取り組むと楽しい授業になります。 ②日常生活で使っている工芸品(用の美)について、アンテナを張って考え、見ていきましょう。 ③地域の工芸品展示場所や販売所に行ってみましょう。(大牟田駅前の観光プラザ、瀬高駅構内、八女伝統工芸館、地場産久留米等)				
評価の観点	知識・技能	有明の伝統的工芸品について知識として習得し、配布された資料、PCの情報などを有効に活用することができる。			
	思考・判断・表現	日本の伝統的工芸品について、諸課題を現代の文化、価値観の観点から考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	日本及び有明地域の工芸品に関心を持ち、課題意識を高め意欲的に研究することができる。			
評価方法	知識・技能	試験、発表			
	思考・判断・表現	授業中の態度、発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動、発表、作品			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607240102(2年) 607240103(3年)	科目名	実用書道	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	実用の書範（高山草月堂）			
到達目標	生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、美しい文字を通して意思を相手に的確に伝えることができるようにする。伝統と文化についての理解を深める。				
選択条件	①「実用書道」は、「書道Ⅰ」、「書道Ⅱ」を履修していなくても履修することができます。 ②文字を基礎から学び、美しい文字を書きたい生徒。 ③手紙、はがき、のし袋、インテリア書等、日常生活の中の書を学び、生活に生かしたい生徒。				
	【補足】 就職を希望している生徒で、文字を書く機会が多くなる生徒は、できるだけ選択してください。				
授業内容	硬筆・毛筆の用筆・運筆、基本点画から学習し、日常生活で使用する様々な文書の美しい書き方を学んでいきます。 主な学習内容 ①漢字・仮名の基本(毛筆・硬筆) ②生活の中の書(手紙、はがき・封筒の表書き、招待状の返信、のし袋等) ③作品制作(インテリアに合う書)				
学習方法	文字を書くことは、人と人とを繋ぐコミュニケーションの手段の1つです。届ける相手にわかりやすく自分の意思を伝えることが大切です。 ①書の用具・用材を大切に扱い、取り組む姿勢を大事にする。 ②日頃から文字を正確に・読みやすく・美しく書くことを意識し、根気強く取り組む。 ③他者に文字を評価してもらい、意思が伝わっているか確認する機会を作る。				
評価の観点	知識・技能	文字の変遷や、実用的な書の背景、付随するしきたり等を理解し、形や技法に注意しながら、読みやすく美しい文字を書くことができる。			
	思考・判断・表現	資料にある字形や構成等の表現の仕方を参考に書の表現の諸要素を感受し、それに基づいて自分の表現を工夫することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	書の伝統や文化、ならびに実用的な書に関心を持ち、真摯な姿勢と態度で意欲的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	テスト、作品			
	思考・判断・表現	作品、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	活動、発表、道具の取り扱い・美化意識			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607250103	科目名	陶芸教室	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	陶芸を通して、造形に対する見識と探求心を広げる。用具の特徴を理解し大切に扱う態度を養う。				
選択条件	①美術系の大学・専門学校進学希望者で、粘土での作品制作に興味・関心の強い生徒は選択してください。				
	【補足】				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ○手びねりを通じての陶芸の基礎学習 ○ロクロでの成形を通しての量産食器の製造 ○オブジェの制作 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ○さまざまな角度から物事を観察し、創造力を養いましょう。 ○集中して授業に取り組み、粘土の感覚を早く身につけましょう。 				
評価の観点	知識・技能	製造や焼成についての基本知識を理解し、作品制作に取り組むことができる。			
	思考・判断・表現	自らのイメージを具現化することに真摯に取り組み、制作に反映することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	制作活動に集中し、一つ一つの作品を粘り強く着実に仕上げるることができる。			
評価方法	知識・技能	活動・提出物			
	思考・判断・表現	作品・テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	607260102(2年) 607260103(3年)	科目名	漫画入門	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	作品の制作を通して、それぞれの持つ個性や特徴を理解し、互いを尊重し合える心を育てる。芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。				
選択条件	①この授業では、漫画の基礎的な知識・技術を身につけ、自由でオリジナリティーあふれる作品作りを目標とし、学習していきます。漫画を創作することにより、読み手としてだけでなく、作家としての視点で漫画に関わることができ、今までとは違う新しい楽しさを知ることができます。 ②自らの創作活動に活かすことができるよう優れた作品を鑑賞し、漫画特有のユニークな表現方法・デッサンの技術を高めめます。				
	【補足】 大学には漫画学科などのコースも増えています。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的な創作手順を学びます。 ・テーマ・キャラクター・構成・コマ割り等のアドバイス ・さまざまな道具の使い方 				
学習方法	極めて簡単です！ 紙とペン、それと畳一帖分のスペースもあれば誰でも漫画は描けます。細かいテクニックや知識を身につけるのは後回し！ まずは描く！「絵が下手」＝「漫画も下手」というのは勝手な思い込みで、アイデア次第でいくらでも描けることを学びます。「誰かのマネ」ではなく「自分らしさ」を大事にして素直な漫画を描いてください。				
評価の観点	知識・技能	芸術表現としての漫画の意義について理解し、漫画独特の表現やその技法についてその良さを感じることができる。			
	思考・判断・表現	個性を尊重しながら生活や文化と関連づけて、主人公の心情を表現し、構成を工夫して読者に伝えようとすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	漫画の制作を通して、主体的に創造活動に取り組み、工夫して表現しようとすることができる。			
評価方法	知識・技能	作品			
	思考・判断・表現	作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608100101	科目名	英語コミュニケーション I	単位数	4単位
履修年次	1年次	設置系列	人文科学	履修条件	必履修
使用教材	教科書	Vivid English Communication I (第一学習社)			
	副教材	WordTree 3000英単語・熟語(文英堂)			
到達目標	聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5つの領域において能力を伸ばすことを目標とします。				
選択条件	1年次生徒全員が履修します。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検3級・準2級など)				
授業内容	①中学校で学習した内容を繰り返し学習し、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。 ③副教材を使って様々な基礎的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。 ①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	ノート、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	ペアワーク、パフォーマンステスト、課題、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度、ペアワーク、パフォーマンステスト、課題			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608110102	科目名	英語コミュニケーションⅡ	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	原則履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	WordTree 3000英単語・熟語(文英堂)			
到達目標	聞くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5つの領域において能力を伸ばすことを目標とします。				
選択条件	2年次生徒全員が履修します。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検準2級・2級など)				
授業内容	<p>①英語コミュニケーションⅠで学習した内容を振り返り、定着を図ります。</p> <p>②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。</p> <p>③副教材を使って様々な基礎的な語彙を身につけ、表現力を高めます。</p>				
学習方法	<p>効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。</p> <p>①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。</p> <p>②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。</p> <p>③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。</p>				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	ノート、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	ペアワーク、パフォーマンステスト、課題、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度、ペアワーク、パフォーマンステスト、課題			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608120103	科目名	英語コミュニケーションⅢ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	WordTree 3000英単語・熟語(文英堂)			
到達目標	聴くこと、読むこと、話すこと(やり取り)、話すこと(発表)、書くことの5領域においてさらに高く能力を伸ばし、コミュニケーションを図る力をつけることを目標とする。				
選択条件	①4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望する生徒で、受験に英語が課せられている生徒。 ②難解な英語を学習したい生徒。				
	【補足】 授業を通して、大学入試に対応する力を高めることができます。				
授業内容	①英語コミュニケーションⅡで学習した内容を更に深め、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを生徒同士で話し合うなどして、結論をまとめたり、まとまりがある文章を書くなどの英語活動を行います。また、英文について速読・精読するなど、目的に応じた読み方を身につけます。 ③副教材を使って様々な標準的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	①予習…英文・英単語をノートに書き、その意味を調べ、ノートにまとめる。その際、自学では理解できなかった点を整理しておく。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。また、予習で理解できなかった点を授業を通して理解する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容を家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて英語で情報や考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・提出物・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動、発表、提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・発表・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608130102(2年) 608130103(3年)	科目名	論理・表現 I	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	MY WAY Logic and Expression I (三省堂)			
	副教材	改訂版 Jet Reading 英語速読テストLevel1 (数研出版)			
到達目標	日本語とは異なる英語の論理・表現の基礎を体系的に確認しつつ、英語の背景にある文化に対する理解を深め、相手への配慮をしながら積極的にコミュニケーションを図る力を養う。				
選択条件	①4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望する生徒で、受験に英語が課せられている生徒。 ②コミュニケーション能力を高め、英語の語彙や表現を身につけたい生徒。				
	【補足】 ライティングの力をつけたい人は取ることが望ましい。更に力をつけたい、より発展的な内容を学習しておきたい生徒は、続けて3年次で論理・表現Ⅱを取ることが望ましいです。				
授業内容	次のような英語の言語活動を行います。 ①さまざまな話題や場面について、英語で書いたり話したりする。 ②与えられた話題について対話したり発表したりする。				
学習方法	基本的な文法から確認をしていきますので、一つ一つの英文を確実に自分のものにしていきましょう。 ①授業の前にあらかじめ教科書の問題に取り組む。 ②授業では、予習で考えたものと照らし合わせて、適切な英語の表現を確認する。 ③基本的な英語の表現を身につけるために、学習した英文を音読したり書いたり、その表現を使って自分でさまざまな場面を設定し、英文を作ってみる。				
評価の観点	知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて英語で情報や考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・提出物・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動、発表、提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・発表・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608140103	科目名	論理・表現Ⅱ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書				
	副教材				
到達目標	論理・表現Ⅰで学習した内容を発展させて、日本語とは違う論理・表現の体系を理解し、論理的に理解したり、自己を表現できるようになることを目標とする。				
選択条件	①論理・表現Ⅰを履修している生徒。 ②4年制大学・短期大学・看護医療系専門学校進学を希望している生徒で、受験に英語が課せられている生徒。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定(2級・準2級)のライティング分野にも対応できる力をつけることができます。				
授業内容	次のような英語の言語活動を行います。 ①さまざまな話題や場面について、まとまりのある英文を書いたり話したりする。 ②聞いたり読んだり、学んだこと、自分の経験を英語で書いて発表をする。 ③発表されたものを聞いて、内容について質問したり意見を述べたりする。				
学習方法	論理・表現Ⅰで学習する基本的事項を踏まえての内容です。 ①教科書の内容をよく理解し、問題に取り組む。 ②適切な英語の表現を確認する。 ③学んだ内容を使って自分のことを積極的に表現する。 ④さまざまな話題について自分の意見を持つことができるよう、英語の新聞、雑誌、ニュース等を利用する。				
評価の観点	知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解することができる。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて英語で情報や考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的・自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ることができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・提出物・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動、発表、提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・発表・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608160102(2年) 608160103(3年)	科目名	中国語	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	《最新版》 1年生のコミュニケーション中国語(白水社)			
到達目標	中国語の基礎や中国固有の文化を学び、文字を覚える。また、それらの知識を活用し、中国語で簡単な会話や読み・書きができるようにする。				
選択条件	①初めて中国語を学ぶ生徒。 ②高い学習意欲を持ち、積極的に中国語の学習に取り組める生徒。 ③将来、身につけた中国語を生かした職業に就きたいと思っている生徒。				
	【補足】 原則として、進学に直接関わる科目ではありません。教養として身につける内容です。				
授業内容	①発音練習を繰り返し行います。文法は例文を補充して説明します。 ②日常的な話題について、中国語でコミュニケーションを図る積極的な態度を育てます。 ③中国の習慣・文化・現状について質疑応答やディスカッションを通じて学習を進めます。				
学習方法	①繰り返し音声を聞いて発音の練習をしましょう。 ②わからない単語などは丹念に辞書で調べる習慣を身につけましょう。 ③辞書で調べることで、語彙力を身につけましょう。 ④中国語は学んでいて、とても楽しい言語です。発音はリズム感があり、文字は親しみやすい漢字です。「勉強しよう」、「マスターしよう」と意気込むよりも、まず中国語を「好きになってみる」ことから始めましょう。 ⑤語学を習得するうえで大切なのは、「続けること」です。少しずつ続けていけば、いつの間にか大きな力となっているものです。				
評価の観点	知識・技能	中国語の学習を通して知識を身につけるとともに、聞いたり、読んだりして情報や考えを的確に理解することができる。			
	思考・判断・表現	中国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、その背景にある文化を理解して積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ることができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・発表・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	608170102(2年) 608170103(3年)	科目名	ハングル	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	Pointで学ぶ韓国語 I (花書院)			
到達目標	韓国語の基礎や韓国固有の文化を学び、ハングルを覚える。また、それらの知識を活用し、韓国語で簡単な会話や読み・書きができるようにする。				
選択条件	①初めてハングルを学ぶ生徒。 ②韓国や韓国文化に興味のある生徒。 ③将来、身につけたハングルを生かした職業に就きたいと思っている生徒。				
	【補足】 原則として、進学に関わる科目ではありません。教養として身につける科目です。				
授業内容	①テキストに沿って韓国の文化や習慣を紹介します。 ②韓国語の入り口である文字(ハングル)を覚えることを当面の目標とします。 ③文字と発音を身につけます。 ④韓国固有の文化を学びます。				
学習方法	韓国語はリズムがとても大切です。1日10分でもいいから、毎日発音の練習をしましょう。「継続は力なり」です。				
評価の観点	知識・技能	韓国語の学習を通して知識を身につけるとともに、聞いたり、読んだりして情報や考えを的確に理解することができる。			
	思考・判断・表現	韓国語で話したり書いたりして、情報や自分の考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	コミュニケーションに関心を持ち、その背景にある文化を理解して積極的に言語活動を行い、韓国語でコミュニケーションを図ることができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・発表・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	609100101	科目名	家庭基礎	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	図説家庭基礎(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付けることが目標です。				
選択条件	「家庭基礎」・「家庭総合」どちらかを必ず選択して全員が履修する必履修科目です。				
	【補足】				
授業内容	<p>①講義とペア・グループ活動での演習を組み合わせながら授業を進めていきます。</p> <p>②被服実習は、自分で必ず完成させ、使用できるように作品を制作します。</p> <p>③調理実習は、自分で作るを意識して、自宅で復習できるものを作ります。</p> <p>④家族・子ども・高齢者・食生活・衣生活4・住生活・消費生活の分野を1年間で学習するため被服・調理実習の時間は短時間で効率的に行います。</p>				
学習方法	<p>①復習を確実にを行い、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。</p> <p>②学習したことを自分のものにするためにも、家庭内の仕事に積極的に取り組みましょう。</p> <p>③新聞やニュースを視聴することにより、現在の家庭生活に関する課題を知り、それを解決するためにはどうすればよいか、考える習慣をつけましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解とそれに係る技能を身につけることができる。			
	思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るための取り組むことが具体的にできている。			
評価方法	知識・技能	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・実習・考査			
	思考・判断・表現	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・グループ活動・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・グループ活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	609110101(1年) 609110102(2年)	科目名	家庭総合	単位数	1年次(2単位)・2年次(2単位)
履修年次	1・2年次 (継続)	設置系列		履修条件	選択必履修
使用教材	教科書	家庭総合(実教出版)			
	副教材	ニューライブラリー家庭科資料+成分表(実教出版)			
到達目標	自立した生活にむけて基礎的な知識と技術を習得するとともに、家庭生活の充実向上をはかる力と実践的な態度を身に付けることが目標です。				
選択条件	①「家庭基礎」・「家庭総合」どちらかを必ず選択履修する必履修科目です。1・2年の2年間履修することが条件です。 ②保育士や幼稚園教諭を将来目指している生徒。 ③調理師やパティシエなど将来調理とかかわる職業を考えている生徒。 ④まだ明確ではないが、将来調理関係や子どもとかかわる仕事など家庭科に関係あることから進路を考えたいと思っている生徒。				
	【補足】 家庭科に関係する進路を希望している生徒の中で、4年制大学進学を希望している生徒は、家庭基礎を選択するようにしてください。				
授業内容	①家族・子ども・高齢者・食生活・衣生活・住生活・消費生活の分野を2年間で学習します。 ②1年で被服実習、ミシンを使って作品を制作します。 ③2年で調理実習を実施します。				
学習方法	①復習を確実にを行い、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。 ②学習したことを自分のものにするためにも、家庭内の仕事に積極的に取り組みましょう。 ③新聞やニュースを視聴することにより、現在の家庭生活に関する課題を知り、それを解決するためにはどうすればよいか、考える習慣をつけましょう。				
評価の観点	知識・技能	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解とそれに係る技能を身につけることができる。			
	思考・判断・表現	生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	よりよい社会の構築に向けて、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るための取り組むことが具体的にできている。			
評価方法	知識・技能	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・実習・考査			
	思考・判断・表現	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・グループ活動・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・プレゼンテーション・学習プリント・グループ活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	609120103	科目名	暮らしとマナー	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	最新版 楽しく学べるマナーの基本（教育図書）			
到達目標	社会人としてのマナーと家庭生活の中で知っておきたいマナーについて理解し、実践することができるようになる。				
選択条件	①就職希望者の中でマナーを学習したい生徒。 ②グループ活動やペアワークに積極的に参加できる生徒。				
	【補足】 商業科目の「秘書入門」と内容が重なっています。「秘書入門」を受講者は選択する必要はありません。				
授業内容	実習を通して、次のような内容を学習していきます。 ①礼儀作法 ②テーブルマナー ③正しい言葉遣い ④手紙の書き方 ⑤訪問・贈り物のマナー				
学習方法	①復習をしっかりと、授業内容を確実に理解していきましょう。 ②マナーについては、日ごろから授業で学んだことを繰り返し、実践していくことが大切です。 ・敬語を使って、話す習慣をつける。 ・美しい姿勢を保とうと意識をもつ。 ・授業で学んだことは継続して実践していく。				
評価の観点	知識・技能	日常生活の中で知っておきたい一般常識を理解し、生活をより豊かにするために日常生活で学習内容を実践することができる。			
	思考・判断・表現	社会人として責任をもつことの大切さや、身だしなみの意味と装いの基本を理解し、日常生活において活かすことができる。(授業中の様子・提出物)			
	主体的に学習に取り組む態度	生活の質の向上のために、生活の中に課題を見つけ、周囲の人と協働して解決に向けて取り組むことができる。(授業中の様子・提出物)			
評価方法	知識・技能	学習プリント・演習・考査			
	思考・判断・表現	発表・レポート・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動・ペアワーク・ワークシート・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	610100101	科目名	情報 I	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	必履修
使用教材	教科書	高校情報 I (実教出版)			
	副教材	30時間でマスター-office2019 他2冊			
到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。				
選択条件	必履修科目です。				
	【補足】				
授業内容	授業はパソコン実習形式で進めますが、筆記試験対策として座学も行います。 ①情報社会 ②情報デザイン ③デジタル ④ネットワーク ⑤問題解決 ⑥プログラミング				
学習方法	1月に行われる全商情報処理検定3級を目指し、模擬試験問題集を中心に学習します。ソフトウェアの操作については、基本を一つ一つ確認し、技術の習得だけでなく、どのように活用できるかを考えることが大切です。 先生から言われたことだけをやるのではなく、自ら積極的に練習問題などを解きましょう。特に、検定前は、パソコン室などを使用して機械にも慣れることです。				
評価の観点	知識・技能	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報に関する法規や制度及びマナーなどについて、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。			
	思考・判断・表現	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養う。情報と情報技術を改善することで、適切かつ効果的に活用する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題提出 授業に臨む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612100102	科目名	農業と環境	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	農業と環境 新訂版(実教)			
	副教材	なし			
到達目標	①栽培農業を体験しながらその基礎と考え方、また、農業を学ぶ姿勢を育成する。 ②農業の簡単な体験と概要を学び、農業の魅力を体得させる。				
選択条件	①農業系4年生大学、農業系公務員を目指す生徒。 ②将来、農業系の仕事または農業技術が必要とされる仕事に従事する予定の生徒。				
	【補足】 国公立農業系学部及び私立農業系大学、農業系公務員を目指す場合、必ず履修してください。				
授業内容	①農業高校で全ての生徒が必ず学習する農業生産に関わる基礎科目となります。 ②「野菜」、「草花」、「果樹」、「作物」、「畜産」で扱う教材を用いて、簡単な管理方法とその生態の基礎について学びます。 ③農業を取り巻く環境とその評価方法の概要を学習します。				
学習方法	①野菜・草花の播種、定植調査、観察 ②水田実習、調査、観察 ③調査データの加工、分析、発表(プロジェクト学習) ④果樹の管理				
評価の観点	知識・技能	農業と環境の分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	農業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、農業に携わる者として適切に判断し、創意工夫しながら実習することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	農業に常に興味をもち、主体的に実習に取り組もうとするとともに、実践的な態度が身についている。(授業中の態度・提出物)			
評価方法	知識・技能	学習プリント、定期考査			
	思考・判断・表現	座学、実習中の活動、生産物、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む態度、実習に取り組む姿勢、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612140102(2年) 612140103(3年)	科目名	作物	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	作物(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	作物の生産と経営に必要な知識と技術を習得させ、作物の特性や生産に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。				
選択条件	①農業系の学部を目指す生徒。 ②将来、農業系の仕事、または農業技術が必要とされる仕事に従事する予定の生徒で、興味のある生徒。				
	【補足】 「作物」の授業は、実習中心の授業となります。教科書に書かれたそれぞれの作物の特性を覚えることと同時に、実習をいかに「誠実に」・「正確に」・「素早く」終わらせるか、常に考え行動してください。無駄な動きを省き、効率よく仕事を進める能力は農業分野のみならず、全ての仕事において必要とされる能力です。また、この授業では観察力を主に養います。自分が観察するイネに対し、責任を持ってデータを収集してください。				
授業内容	作物は、人間にとって主食となる植物を学習する科目です。中心教材としてイネを用います。イネの栽培期間に、週一回の観察・記録を行い、データの収集・整理・考察を通して植物の生長を科学的に検証する基礎的な知識・技術を学びます。また、イネを取り巻く文化的な環境にも目を向け、米の重要性を考えていきます。その他、露地栽培による作物を栽培し、それらの基礎的な栽培技術を身につけることができます。				
学習方法	①稲作の基礎的栽培技術を学ぶ。 ②イネの一生を観察・記録し、データの科学的な検証方法を学ぶ。 ③イネを取り巻く文化的な背景を学習し、日本人と稲作の深いつながりについて学ぶ。 ④水田裏作・転作作物としての作物の栽培技術を学ぶ。(トウモロコシ・大豆・サツマイモ等)				
評価の観点	知識・技能	作物の利用に関する関心と課題意識を高め意欲的に追求することができる。			
	思考・判断・表現	作物の利用の諸課題を現在の視点から考察する事ができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	作物の利用に関する関心と課題意識を高め意欲的に追求することができる。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612150102(2年) 612150103(3年)	科目名	野菜	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	野菜(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	福岡県の主力品種であるイチゴ「あまおう」の生産量は他の野菜と比較してもダントツの生産量を誇っています。「野菜」の授業ではイチゴ栽培を中心にし、それ以外の露地・施設野菜の生産技術の基礎を学習します。				
選択条件	①農業系の学部等を目指す場合には必ず履修してください。 ②将来、農業系の仕事、または農業技術が必要とされる仕事(医療系・保育系)に従事する予定の人で、興味のある人は履修してください。				
	【補足】 農学部系の大学へ進学したい生徒は、推薦入試における農業科目の単位となります。				
授業内容	①露地野菜の基礎的栽培技術を学ぶ。(播種・定植・収穫) (スイートコーン・エダマメ・キャベツ・ハクサイ・ダイコン・ブロッコリー等) ②施設野菜の基礎的栽培技術を学ぶ。(トマト・ピーマン・ナス・キュウリ・イチゴ等) ③福岡県育成品種「あまおう」の育苗から収穫・販売技術を学ぶ。 ④「あまおう」の育成経緯と、福岡県の取り組みについて学ぶ。				
学習方法	「野菜」の授業は、実習中心の授業となります。教科書に書かれたそれぞれの野菜の特性を覚えることと同時に、実習をいかに「誠実に」・「正確に」・「素早く」終わらせるか、常に考え行動してください。無駄な動きを省き、効率よく仕事を進める能力は農業分野のみならず、全ての仕事において必要とされる能力です。 ①実習で扱う植物について、事前に教科書をよく読み、予習をしてください。 ②実習中心の授業です。普段から体調をよく整えてください。				
評価の観点	知識・技能	野菜の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、野菜栽培、販売に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。			
	思考・判断・表現	野菜に関する諸問題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、野菜栽培、販売に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。			
	主体的に学習に取り組む態度	野菜の種類、栽培管理について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612250102(2年) 612250103(3年)	科目名	果樹	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	果樹(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	果樹の栽培と経営に必要な知識と技術を習得させ、果樹の特性や栽培に適した環境を理解させるとともに、品質と生産性の向上を図る能力と態度を育てる。				
選択条件	①農業系の学部を目指す生徒。 ②将来、農業系の仕事、または農業技術が必要とされる場合がある仕事に従事する予定の生徒で、興味のある生徒。				
	【補足】 「果樹」の授業は、講義中心の授業となりますが、その時々に応じた管理実習が最も大切な授業と位置付けています。将来、農業系の仕事、または農業技術が必要とされる場合がある仕事(医療系・保育系)に従事する予定の人で、興味のある人は履修してください。				
授業内容	<p>果物の中でも「木になる」植物を学習する授業です。「果樹」の授業では落葉果樹としてモモ、常緑果樹として柑橘類(ミカン類)を中心に学習し、果樹園芸における基礎的な知識・技術を身につけます。</p> <p>①露地を利用した果樹生産と、果樹園管理方法の基礎を身につけることができます。 ②「モモ」「ミカン類」を中心教材として学習します。 ③実習を通して、仕事の段取り力を身につけることができます。</p>				
学習方法	<p>①落葉果樹、常緑果樹の基礎的栽培技術を学ぶ。 (ウメ・モモ・温州ミカン・キウイフルーツ・ブルーベリー等) ②果樹園の基礎的管理技術を学ぶ。</p>				
評価の観点	知識・技能	果樹栽培について、基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、果樹の意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	果樹栽培について、課題の解決を目指して思考を深め、実習を行う。			
	主体的に学習に取り組む態度	果樹に常に興味をもち、主体的に実習に取り組もうとするとともに、実践的な態度が身に付けている。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612170102(2年) 612170103(3年)	科目名	草花	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	草花(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	①草花の生産と経営に必要な知識と技術を習得させる。 ②草花の特性や生産に適した環境を理解させる。 ③品質と生産性の向上及び経営の改善を図る能力と態度を育てる。				
選択条件	①苗木、鉢物生産を主体とした花卉栽培技術の基礎を学習したい生徒。 ②実習を通して、仕事の段取り力を身につけたい生徒。 ③自分たちで生産した花苗を周辺地域に販売し、地域の環境美化に貢献したい生徒。				
	【補足】 農業系の学部や公務員を目指す場合には、農業の補助的な学習内容となります。将来、園芸療法や花壇・農場の手入れなど、農業技術が必要とされる仕事(医療系・保育系)に従事する予定の人で、興味がある人は履修してください。				
授業内容	培養土の準備から、繁殖、栽培、販売・流通までの基礎を学習します。 (腐葉土作成・培養土準備・種子繁殖・栄養繁殖・コンテナガーデン作成・花苗販売等) 施設栽培の基礎的技術を学ぶ。(サルビア・ペチュニア・パンジー・ノースポール等) ①草花に関する基礎知識を授業で学び習得する。 ②調査・観察記録・実習で学び基礎技術を習得する。				
学習方法	「草花」の授業は、実習中心の授業となります。 ①実習で扱う植物について、事前に教科書をよく読み、予習をしてください。 ②草花に関する基礎知識を授業で学び、調査・観察記録・実習で基礎技術を習得する。 ③各実習を実施して、記録ノートにまとめる。 ④周辺地域を飾る草花を生産します。誇りと責任を持って実習に取り組みましょう。				
評価の観点	知識・技能	草花の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	草花の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養っている。			
	主体的に学習に取り組む態度	草花の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、実験観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、実験観察、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612210102(2年) 612170103(3年)	科目名	農業経営	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	農業経営(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	<p>①農業経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につける。</p> <p>②農業経営のグローバル化や法人化、六次産業化について自らの課題として捉え、発展的な経営方法を学習する。</p>				
選択条件	<p>①農業系の学部を目指す生徒。</p> <p>②将来、農業自営の仕事に従事する予定の生徒。</p>				
	<p>【補足】</p> <p>①農学部系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。</p> <p>②商業科の科目ではありません。商業系の進路には対応していませんので注意してください。</p>				
授業内容	<p>①農業経営の設計と管理に必要な基礎的知識と技術の習得、コスト管理とマーケティングの必要性を理解し、経営管理の改善を図る能力と態度を学びます。</p> <p>②農業の動向と農業経営、農業のマネジメント、農業のマーケティング等について学習します。</p>				
学習方法	<p>①農業を取り巻く幅広い分野から経営に関する事柄について学びます。また教科書を中心として講義を行います。新聞・テレビ等のメディアも活用します。</p> <p>②専門用語が多いため、教科書は事前に読んでください。自分で調べる習慣をつけましょう。</p> <p>③新聞・テレビ等のメディアを積極的に活用し、常に問題意識を持ち、幅広い知識を身につけてください。</p>				
評価の観点	知識・技能	農業経営に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、作物の育成に関する諸活動を合理的に計画しその技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	農業経営の諸課題を現在の視点から考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	農業経営に関する関心と課題意識を高め、意欲的に追求することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業プリント			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612230102(2年) 612230103(3年)	科目名	植物バイオテクノロジー	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	植物バイオテクノロジー(実教出版)			
	副教材				
到達目標	【補足】 農学部への推薦入学を目指す場合、履修をおすすめします。将来、農業系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。				
選択条件	①農学部への推薦入学を目指す場合、履修をおすすめします。 ②バイオテクノロジーに興味関心があり学習したい生徒。 ③生物の分野を深く学習しようとする生徒。				
	【補足】 農学部系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。				
授業内容	①実験実習を通して、生物工学関係の技術について学びます。 ②各自課題を設定し、継続的に学習することにより、植物への理解が深まります。				
学習方法	①植物組織の培養など通して、生物学・栽培の技術について学びます。 ②生き物から学ぶ楽しさやすばらしさを体験しましょう。 ③常に課題意識を持ち、それを解決しよう学習を進めていきましょう。 ④観察や記録の重要性を認識しましょう。				
評価の観点	知識・技能	各実験について、基礎的・基本的な知識を身につけ、バイオ技術を理解することができる。			
	思考・判断・表現	実験の課題を目指して思考を深め、実験を行うために適切に判断し、創意工夫しながら実験ができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	バイオテクノロジーに関心を持ち、主体的に実験に取り組もうとするとともに、実践的な態度が身についている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・レポート			
	思考・判断・表現	授業中の活動・研究発表・培養物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612240102(2年) 612240103(3年)	科目名	食品製造	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	食品製造(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	<p>①食品製造に必要な知識と技術、食品の安全性など食品製造について体系的・系統的に理解し、実習を通して技術を身につけさせる。</p> <p>②食品製造に関する課題を発見し、創造的な解決力を養う。</p>				
選択条件	<p>①栄養・食品・調理等の分野への就職や進学を希望するものは受講が望ましいです。</p> <p>②食品分野の学習に興味関心のある人は選択してください。</p>				
	<p>【補足】 農学部系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。</p>				
授業内容	<p>①加工品の製造を通して、食に関する基礎的な知識について学びます。</p> <p>②体験的・継続的な学習により、食品に対する考え方や製造技術が身につきます。</p>				
学習方法	<p>①食品の加工について基本的な知識・技術について学びます。</p> <p>②食品加工から学ぶ楽しさを体験できます。</p> <p>③日頃から「食」に目を向ける習慣をつけます。</p> <p>④常に課題意識を持ち、それを解決するよう学習を進めていきます。</p>				
評価の観点	知識・技能	食品製造の分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、農業に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	製造実習の各工程において、製造者として適切に判断し、創意工夫しながら製造することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	製造実習に関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度が身についている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業プリント・提出物			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・製造作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・実習に取り組む姿勢			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612250102(2年) 612250103(3年)	科目名	食品化学	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	食品化学(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	食品化学について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。食品の成分や栄養を理解し、農業の各分野で応用できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
選択条件	①食品・栄養・調理関係に進路を求める人は受講することが望ましいです。 ②3年次で「食品製造」を受講しようと希望するものはこの単位の履修後が望ましいです。 ③これから食品の分野を学習しようとする人は選択してください。				
	【補足】農学部系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。必要な単位数は大学や学部によって異なりますので、自分でよく調べてください。				
授業内容	食品の成分と栄養的価値について学習する科目です。 ○食品を科学的にとらえる姿勢を養います。 ○基本的な「化学」の内容も含まれます。				
学習方法	○食品化学について学びます。 ○日頃から「食」について科学的に目を向ける習慣をつけましょう。 ○常に課題意識を持ち、それを解決するよう学習を進めていきましょう。				
評価の観点	知識・技能	食品化学の役割に関する基礎的な知識を身に付け、身近な食品例から、食品製造と食品化学の関係について理解している。			
	思考・判断・表現	食品の諸課題を現在の視点から考察することが出来る。			
	主体的に学習に取り組む態度	食品化学に関する関心と課題意識を高め意欲的に追求することができる。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612260102(2年) 612260103(3年)	科目名	食品微生物	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	食品微生物（実教出版）			
	副教材	なし			
到達目標	食品に関連する微生物の利用と培養に必要な知識と技術を習得させ、微生物の特性を理解させるとともに、食品関連の各分野で微生物を利用する能力と態度を育てる。				
選択条件	①農業や食品の分野を学習しようとする人は選択してください。 ②食品・栄養・調理関係に進路を求める人は受講することをおすすめします。				
	【補足】 農学部へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。 必要な単位数は大学や学部によって異なりますので、よく調べてください。				
授業内容	食品に関する微生物の利用と制御及びバイオテクノロジーについて学習する科目です。 ○微生物の培養について学び、基本的な無菌操作の技術・知識を修得します。 ○体験的、継続的な学習により、農業の見方や考え方が分かるようになります。 ○これから農業の分野を学習しようとする人は選択してください。 ○食品・栄養・調理関係の進路を考えている人も、衛生的に必要な学習ができます。				
学習方法	○微生物などの培養を通して、無菌操作の技術について学びます。 ○生物から学ぶ楽しさや素晴らしさを体験しましょう。 ○日頃から自然環境の変化に目を向ける習慣をつけましょう。 ○常に課題意識を持ち、それを解決するように学習をしましょう。 ○観察や記録の重要性を認識しましょう。				
評価の観点	知識・技能	微生物の分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ適切に活用出来る。			
	思考・判断・表現	微生物の利用の諸課題を現在の視点から考察する事が出来る。			
	主体的に学習に取り組む態度	微生物の利用に関する関心と課題意識を高め意欲的に追求することができる。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612380102(2年) 612380103(3年)	科目名	生物活用	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	生物活用(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	園芸作物や社会動物の活用に必要な知識と技術を習得させ、それらの生物の特性を活用した活動や療法の特質を理解させるとともに、生活の質の向上を図る能力と態度を育てる。				
選択条件	①農業系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。 ②医療福祉系・保育系の進路を考えている人は、生物の活用方法の基礎を学び、将来に生かすことができます。				
	【補足】 園芸療法を中心に考え、常に誰かの補助・指導をしながら農業を楽しませる人材育成を目指して学習します。その中で基本的な野菜・花の栽培方法や、その他農産物の加工方法について学習します。農業系の学部や公務員を目指す場合には、農業の補助的な学習内容となります。将来、園芸療法や花壇・農場の手入れなど、農業技術が必要とされる仕事(医療系・保育系)に従事する予定の人で、興味がある人は履修してください。				
授業内容	野菜や草花の栽培を通して、豊かで潤いのある生活実現の方法を学習します。 ①園芸の活用と効果(園芸療法について) ②野菜・草花の栽培と活用 ③農産物の加工について ④動物の活用(講義のみ)				
学習方法	この授業では農業技術の習得も大切ですが、それ以上に社会生活をどのようにすれば充実させることができるのかを考えてください。 ①新聞等で社会問題になっていることをよく読み、問題意識を持ちましょう。 ②実習中心の授業です。ただ作業をするのではなく、常に効率を考えて行動してください。 ③実習は自分のためにやるのではなく、人を幸せにするために勉強していることを常に意識してください。				
評価の観点	知識・技能	園芸作物や社会動物の育成及びこれらの活用に関する基礎的な知識を身に付け、生物活用の意義や役割と生活の質の向上の重要性を理解している。			
	思考・判断・表現	生物活用に関する課題の解決と生物を活用することによる生活の質の向上を目指して思考を深め、基礎的な知識や技術を基に、課題を合理的に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	生物活用について興味・関心を持ち、生物を活用する活動の現状や今日的な課題の改善と生活の質の向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612390102(2年) 612390103(3年)	科目名	地域資源活用	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	地域資源活用(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
選択条件	農学部への推薦入学、農業系公務員を目指す場合、履修をおすすめします。 ①農業の分野を学習しようとする生徒。 ②農業関係及び農業関連産業に進路を求める人は受講することをおすすめします。				
	【補足】 農業系の大学へ進学したい人は、推薦入学における農業科目の単位となります。必要な単位数は大学や学部、および入試年度によって異なりますので、自分でよく調べてください。				
授業内容	農林業や農山村の特色や地域資源の有用性を理解し、それを活用した地域振興を学習する科目です。 ○地域資源の活用について学習を深めます。 ○体験的、継続的な学習により農業の考え方が分かります。 ○地域と連携した進路を考えている人はマーケティングとブランドづくりやサービスなども学習します。				
学習方法	○作物や園芸作物の管理などを通して、栽培の技術について学びます。 ○地域資源の魅力と価値を知り、学ぶ楽しさやすばらしさを体験しましょう。 ○日頃から自然や栽培作物の変化に目を向ける習慣をつけましょう。 ○地域資源を活用する課題意識を持ち、それを解決するよう学習を進めていきましょう。 ○観察や記録の重要性を認識しましょう。				
評価の観点	知識・技能	地域資源の活用について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けようとしている。			
	思考・判断・表現	地域資源の活用に関する課題を発見し、現在の視点から合理的かつ創造的に考察することが出来る。			
	主体的に学習に取り組む態度	地域資源の活用について新たな価値の創造に寄与できるよう自ら学び、地域貢献に主体的かつ協働的に取り組んでいる。			
評価方法	知識・技能	実習・観察、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	授業・実習中の活動、観察、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	実習・観察、授業・実習に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612400102(2年) 612400103(3年)	科目名	パン職人の技	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	イチバン親切なパンの教科書			
	副教材	なし			
到達目標	①食品衛生法を守る意識を確立するとともにパンの製造についての知識と技術を体系的・系統的に理解させる。 ②生地作りができるとともに様々なパンの製造技術を身に付ける。				
選択条件	①食品・栄養・調理関係の就職や進学を考えている生徒。 ②パンの製造に興味・関心がある生徒。				
	【補足】 農学部の推薦入試を目指す場合、農業科目とは見なされない場合があります。注意が必要です。必要な単位数は大学や学部及び入試年度によって異なりますので、自分でよく調べてください。				
授業内容	①パンの製造を通して、食に関する基礎的な知識を学びます。 ②実習を通して、パン製造の知識と技術について学びます。 ③体験的・継続的な学習により、パン製造への理解が深まります。				
学習方法	①パンの製造を通して、食品について学びます。 ②パン作りの中で食品を学ぶ楽しさや素晴らしさを体験できます。 ③常に課題意識を持ち、それを解決するよう学習を進めていきます。				
評価の観点	知識・技能	パンの製造に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、製造技術を理解する。また、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	パン製造の各工程において、製造者として適切に判断し創意工夫しながら製造することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	製造実習に関心を持ち、主体的に取り組もうとするとともに実践的な態度が身についている。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業プリント・提出物			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート・製造作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・実習に取り組む姿勢			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612410102(2年) 612410103(3年)	科目名	ペット動物	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ブルース・フォーグル博士のわかりやすい「犬学」			
	副教材	なし			
到達目標	①この授業は、犬や猫の体の基本的なしくみ、世界で飼われている主要品種、犬たちや猫たちの特別な生態や行動、私たちが彼らと暮らすときの知恵、犬や猫がかかりやすい主な病気などについて理解します。				
選択条件	①犬や猫の種類や歴史、身体的・性格的な特徴、問題行動の対処方法などを理解したい生徒。 ②動物の世話が好きであると同時に、将来、動物関連産業(ペットリマー、犬の訓練士、ペットショップなど)への進路を考えている生徒。				
	【補足】 農学部のおすすめ入試を希望しようとする場合、大学が認める単位とならない場合があるので注意が必要です。				
授業内容	①犬とは(犬の起源、骨格と動き、頭脳と心、犬種、行動) ②猫とは(猫の起源、骨格と動き、頭脳と心、猫の種類、行動)				
学習方法	①動物に触れることが大切です。実習も取り入れますので、積極的に取り組んでください。 ②日頃疑問に思っていることも、授業の中で積極的に質問してください。				
評価の観点	知識・技能	ペットの育成に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ペットの育成に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	ペットに関する諸課題を現在の視点から考察することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ペットにかかわる関心と課題意識を高め意欲的に迫及することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	612420102(2年) 612420103(3年)	科目名	有機農業生活	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	生物資源	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	スローでたのしい有機農業コツの科学(七つ森書館)			
	副教材	なし			
到達目標	①農業を通して環境問題の重要性を学ぶとともに有機農業の基本を学習します。 ②野菜の栽培を通して農業の基本的な知識・技術を体験的に学習します。 ③社会生活や家庭生活で発生する生ゴミ等の利用を考え、自然に還元することの大切さを学習します。				
選択条件	①自然農法に興味関心のある生徒。 ②将来、農業系の仕事または農業技術が必要とされる仕事(医療系・保育系)を考えている生徒で興味のある生徒。				
	【補足】 農学部、農業系公務員を目指す場合、農業の補助的な学習内容となります。				
授業内容	①現代農業の発展経過について ②有機農業生活が求められている現代社会の実態について ③有機農業とは何か ④夏野菜の栽培(通常栽培と有機栽培) ⑤冬野菜の栽培(通常栽培と有機栽培) ⑥堆肥づくり				
学習方法	①実習を通して有機農業を体験します。有機農業を求める声が多い中、なぜ日本の農業が農薬や化学肥料を使用しているのか実感し考えてみましょう。 ②畑にまめに足を運び、雑草や害虫、天敵などいろいろな生き物をよく観察することが有機農業を行う上でとても大切なこととなります。 ③有機農業は完成されたものではありません。いろいろと試してみましょう。				
評価の観点	知識・技能	有機農業について基本的な事柄を日本の現状や生産量の変化等と関連づけながら理解することが出来る。			
	思考・判断・表現	有機農業の諸課題を現在の視点から考察することが出来る。			
	主体的に学習に取り組む態度	有機農業に関する関心と課題意識を高め意欲的に追求することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・小テスト・提出物			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度・実験実習に取り組む姿勢、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614130102(2年) 614130103(3年)	科目名	ビジネスコミュニケーション	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ビジネス・コミュニケーション			
	副教材				
到達目標	企業の組織について理解し、組織の一員として働く場合の心がまえを身につける。 人的ネットワークを構築することの重要性を理解する。				
選択条件	①職業人として必要な豊かな人間性、他者とコミュニケーションを図り協働する力などを身に付けたい生徒。 ②ビジネス文書実務検定1級の取得を目指している生徒。				
	【補足】 卒業後、就職を考えている人に適しています。誰もがいずれ社会人となるので、進学を考えている人も選択することができます。特に、経済学部や商学部などの大学を希望している人には適しています。				
授業内容	①ビジネスとコミュニケーション ②ビジネスマナー ③ビジネスにおける思考の方法とコミュニケーション ④ビジネスと外国語 ⑤ワープロの基礎知識、文字の入出力 ⑥Wordの基本的な操作 ⑦ビジネス文書の作成				
学習方法	積極的に学ぶために、日頃から経済社会について興味、関心をもって生活するよう心掛けることが大切です。				
評価の観点	知識・技能	実際のビジネスにおけるコミュニケーションと関連付け、ビジネスの様々な場面で役立つコミュニケーションに関する知識と技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	ビジネスにおけるコミュニケーションに関する課題を発見するとともに、コミュニケーションに関する理論、成功事例や改善を要する事例など科学的な根拠に基づいて工夫してよりよく解決する力を養っている。			
	主体的に学習に取り組む態度	自らコミュニケーションについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的にビジネスにおいてコミュニケーションを図る態度を養っている。			
評価方法	知識・技能	小テスト			
	思考・判断・表現	小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614140102(2年) 614140103(3年)	科目名	マーケティング	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	マーケティング(実教出版)			
	副教材	マーケティング準拠問題集(実教出版)、令和5年度版全商商業経済検定1・2級(実教出版)			
到達目標	マーケティングについて実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を見に付けるようにする。マーケティングに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。				
選択条件	①国立大学や私立大学でマーケティングを学びたいと考えている生徒。 ②現代社会で起こっている事象の成り立ちを学びたいと考えている生徒。 ③全商商業経済検定2級マーケティング部門を取得したいと考えている生徒。				
	【補足】				
授業内容	①マーケティングの概要 ②消費者行動の理解 ③市場調査 ④STP ⑤製品政策 ⑥価格政策 ⑦チャネル政策 ⑧プロモーション政策				
学習方法	①全商商業経済検定2級を取得することができます。全商商業経済検定マーケティング部門に合格すると、日商リテールマーケティング検定試験において、科目免除のひとつになります。 ②日常の様々な事柄は、すべてマーケティングによって説明できます。日々のニュースに興味を持ちましょう。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、責任をもって取り組んでいる。			
	思考・判断・表現	経済社会にあつて、マーケティングをはじめとした様々な知識、技術などを活用し、マーケティングに関する課題を発見するとともに、科学的根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らマーケティングについて学ぶ態度および組織の一員として自己の役割を認識して当事者としての意識をもち、責任をもって取り組んでいる。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614160103	科目名	観光ビジネス	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	未定			
	副教材	未定			
到達目標	観光ビジネスについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を見に付けるようにする。観光ビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に解決する能力を養う。				
選択条件	①観光やサービス業に興味のある生徒。 ②将来、旅行業界、鉄道業界に就職を考えている生徒。				
	【補足】 観光系の専門学校に進学を希望する生徒。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・観光の発達史・現況 ・文化と観光 ・観光産業と観光経営 ・宿泊観光ビジネス ・ニューツーリズムの誕生と新しい観光ビジネス 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な地域での観光スポットなどに興味を持ち、どのようにビジネス展開できるか、考えてみてください。 ・旅行のテレビ番組、CMなどをよく観察してください。 ・時刻表が読めるようにしてください。 				
評価の観点	知識・技能	観光の基礎的・基本的な用語や知識を理解し、教科書の用語や文章を理解できる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法をビジネスの視点から、適切に判断することができる。(授業での課題制作) 課題を解決する際にどこに着眼点をおいているか。(表現)			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで、知識を活用し、解決しようと取り組むことができる。(授業での課題発表)			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614180102(2年) 614180103(3年)	科目名	グローバル経済	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	グローバル経済(実教出版)			
	副教材				
到達目標	「ヒト・モノ・カネ・情報」という経済活動に欠かせない資源の移動に関して、グローバル経済社会が果たす役割を習得する。				
選択条件	①4年制大学進学を希望する生徒で、経済学部志望の生徒。 ②経済に興味がある生徒。				
	【補足】 経済活動での市場の重要性を理解し、知識や技能を身につけたい人が選択してください。4年制大学(経済学部・商学部)の進学希望者に向いています。併せて、職業人として必要な豊かな人間性、他者とコミュニケーションを図り協働する力などを身に付けます。				
授業内容	①市場と経済 ②需要と供給 ③価格決定と市場の役割 ④経済成長と景気循環 ⑤経済政策				
学習方法	積極的に学ぶために、日頃から経済社会について興味、関心をもって生活するよう心掛けることが大切です。				
評価の観点	知識・技能	市場経済の意義や役割を理解し、基礎的・基本的な知識と技術を身に付けている。			
	思考・判断・表現	経済活動に関する諸問題の解決をめざして思考を深め、図や式を用いて問題解決に活用したり、効果的に表現したりすることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	経済活動での市場の重要性を理解し、日常のビジネス社会のできごとに関心を持っている。経済活動に関する諸問題の解決に主体的、協働的に取り組もうとする。			
評価方法	知識・技能	定期考査、提出物			
	思考・判断・表現	定期考査、グループ活動、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614190103	科目名	ビジネス法規	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書				
	副教材				
到達目標	商業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、法規に基づくビジネスの展開に必要な資質・能力を育成することを目指す。				
選択条件	①全商商業経済検定の受験を考えている生徒。				
	【補足】 卒業後、日商リテールマーケティング検定3級受験を考えている人は、「マーケティング」の科目を選択したら、受験に有利になります。				
授業内容	①法の概要 ②企業活動と法規 ③知的財産と法規 ④税と法規 ⑤企業責任と法規				
学習方法	①新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。 ②社会の出来事に関心を持つようにしましょう。 ③法律用語をしっかりと覚えましょう。法律を身近なものとして、捉えることができるようになります。 ④検定合格を目指している人は、教科書をしっかり読み、繰り返し問題集で学習してください。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスに関する法規について実務に即して体系的・系統的に理解する。			
	思考・判断・表現	法的側面からビジネスに関する課題を発見し、ビジネスに携わる者として法的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自ら学び、法規に基づくビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614200101	科目名	簿記	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新簿記(実教出版)			
	副教材	最新段階式 簿記検定問題集 全商3級 改訂版 (実教出版) 令和6年度版 全商簿記実務検定 模擬試験問題集3級(実教出版)			
到達目標	<p>○実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養</p>				
選択条件	<p>①4年制大学(文系の中でも特に商学部や経済学部)の進学を希望する生徒で、総合型選抜や推薦型選抜入試で受験する生徒。</p> <p>②就職希望者で事務系を希望する生徒。</p> <p>③簿記の知識を身につけたい生徒。</p>				
	<p>【補足】 次年度で原価計算、財務会計Ⅰを選択履修し、全商簿記実務検定1級又は日商簿記検定2級を取得するための基礎科目となります。</p>				
授業内容	<p>授業は講義形式で進め、練習問題を解いていきます。</p> <p>①簿記の基礎 ②資産・負債・資本と貸借対照表 ③収益・費用と損益計算書 ④取引の記帳 ⑤決算 ⑥帳簿と伝票</p>				
学習方法	<p>全商簿記実務検定3級(1月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。</p> <p>お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。</p> <p>計算用具(電卓や算盤)を常に持参し、線を引くときは定規と赤ペンを使用します。</p>				
評価の観点	知識・技能	基本的なしくみ適正な会計処理を行うことを合理的に計画し、その技術を適切に活用している。			
	思考・判断・表現	適正な会計処理を行うことを目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術をもとに、ビジネスの諸活動に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。			
	主体的に学習に取り組む態度	簿記について関心をもち、適正な会計処理を行うことを目指して主体的に取り組もうとするとともに、会計処理を行う実践的な態度を身につけている。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、課題提出			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614210102	科目名	財務会計Ⅰ	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	新財務会計Ⅰ 新訂版 (実教出版)			
	副教材	最新段階式簿記検定問題集全商1級会計改訂版(実教出版) 令和5年度版全商簿記実務検定模擬試験問題集1級会計(実教出版)			
到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質、能力を育成する。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記実務検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤原価計算とセットで履修する生徒。				
	【補足】				
授業内容	①財務会計の基礎 ②貸借対照表について ③損益計算書について ④財務諸表活用の基礎 ⑤連結財務諸表について				
学習方法	全商簿記実務検定1級(6月、1月)日商簿記検定2級(2月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。 お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	企業会計に関する法規と基準及び会計処理の方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応するとともに会計的側面から企業を分析する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	会計責任を果たす力の向上を目指して自ら学び、適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組もうとする。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、グループ活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614220103	科目名	財務会計Ⅱ	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	財務会計Ⅱ(実教出版)			
	副教材	2022年度版 日商簿記検定模擬試験問題集2級 商業簿記・工業簿記(実教出版)			
到達目標	財務会計について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、会計的側面から企業及び企業の経営判断を分析する力と適切な会計情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤2年次に「財務会計Ⅰ」と「原価計算」をセットで履修した生徒。				
	【補足】				
授業内容	企業結合の形態、合併後の財務諸表の作成など企業集団の会計に関する知識、技術などを基盤として、企業会計に関する法規と基準を実務に適用し、適切な会計情報の提供と効果的な活用について学習する。				
学習方法	①全商簿記実務検定1級内容の復習をします。 ②日商簿記検定2級の対策を行います。 ②お互いに教え合うことが多いので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネスの諸活動に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、ビジネスの諸活動に携わる者として、適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動に関する諸活動について関心を持ち、その改善・向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、授業中の活動、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614230102	科目名	原価計算	単位数	4単位
履修年次	2年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	原価計算 新訂版 (実教出版)			
	副教材	最新段階式簿記検定問題集全商1級原価計算改訂版(実教出版) 令和5年度版全商簿記実務検定模擬試験問題集1級原価計算(実教出版)			
到達目標	商業の見方、考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、会計情報の提供と活用に必要な資質、能力を育成する。				
選択条件	①国公立大学や私立大学の商業高校卒受験を考えている生徒。 ②金融機関や一般企業の事務職を希望している生徒。 ③日商簿記検定2級及び全商簿記実務検定1級の取得を希望している生徒。 ④1年次に簿記を履修した生徒。 ⑤財務会計Ⅰとセットで履修する生徒。				
	【補足】				
授業内容	①原価計算の基礎 ②原価の費目別計算・部門別計算・製品別計算 ③製品の完成・販売と決算 ④原価情報の活用				
学習方法	全商簿記実務検定1級(6月、1月)日商簿記検定2級(2月)の取得を目指して授業を進めるので、授業進度は早いです。できるだけ休まないこと。また、授業中に分からないところが出てきたら、そのままにせず、その時間内に解消していくように努めてください。 お互いに教え合うこともあるので、積極性を持って授業に臨むこと。				
評価の観点	知識・技能	原価計算、原価計算に関する会計処理及び原価情報の活用について、実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	原価計算・原価計算に関する会計処理及び原価情報を活用する方法の妥当性と課題を見出し、ビジネスに携わる者として科学的な根拠にもとづいて創造的に課題に対応する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	企業会計に関する法規と基準を適切に適用する力及び適切な原価管理を行う力の向上を目指して自ら学び、適切な原価情報の提供と効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、グループ活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614250102(2年) 614250103(3年)	科目名	情報処理	単位数	4単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	情報処理 新訂版(東京法令出版)			
	副教材	情報処理検定試験模擬問題集1級・2級ビジネス情報編			
到達目標	○企業で情報を適切に扱うための知識や技術を、実務に即して体系的・系統的に身に付ける。 ○情報を適切に扱うことで、様々な問題を発見し、解決していくための力を身に付ける。 ○情報に関する知識や技術を活用し、主体的かつ協働的に問題を解決し、改善していこうとする態度を身に付ける。				
選択条件	①4年制大学・短大の進学希望者で商業科の推薦枠で受験する生徒。 ②就職希望者で、事務職を希望する生徒。 ③情報処理の知識・実技を身につけたい生徒。				
	【補足】 特に、①の場合は、2年次に選択する必要があります。				
授業内容	授業はパソコン実習形式で進めますが、筆記試験対策として座学も行います。 ①ハードウェア・ソフトウェアに関する知識 ②通信ネットワークに関する知識 ③情報モラルとセキュリティに関する知識 ④表計算ソフトの活用 ⑤データベースソフトウェアの活用 ⑥実技問題				
学習方法	9月と1月に行われる全商情報処理検定1・2級を目指し、模擬試験問題集を中心に学習します。ソフトウェアの操作については、基本を一つ一つ確認し、技術の習得だけでなく、どのように活用できるかを考えることが大切です。 先生から言われたことだけをやるのではなく、自ら積極的に練習問題などを解きましょう。特に、検定前は、パソコン室などを使用して機械にも慣れることです。				
評価の観点	知識・技能	ビジネスにおいて役立てることができる、情報を収集・処理・分析・表現するための、基礎的基本的な知識や技術を身に付ける。			
	思考・判断・表現	情報を扱うための知識や技術を活用して、情報に関する課題を発見し、解決するための思考力・判断力・表現力を身につける。			
	主体的に学習に取り組む態度	組織の一員として自己の役割を認識し、情報に関する知識や技術を活用して、協働して課題を解決していこうとする態度を身につける。			
評価方法	知識・技能	提出物、小テスト			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む姿勢、授業中の態度、提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614300102(2年) 614300103(3年)	科目名	OA事務	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書				
	副教材	全商ビジネス実務検定問題集1・2・3級(実教出版)			
到達目標	電卓の指導を通して、早く正確に加減乗除およびビジネス計算ができ、一人ひとりが自主的にPC機能を扱えることで将来に役立つ力を身につけることができる。				
選択条件	①全商ビジネス文書実務検定、全商ビジネス計算実務検定の資格を取得したい生徒。 ②就職を希望する生徒。				
	【補足】				
授業内容	ワープロ、電卓の実習を中心にを行います。 ①キータイピング練習 ②電卓の機能を利用した普通計算(乗算、除算、見取算、伝票算) ③電卓の機能を利用したビジネス計算 ④全商ビジネス文書実務検定、全商珠算・電卓実務検定対策				
学習方法	①全商ビジネス文書実務検定、全商ビジネス計算実務検定の資格を取得することができます。 ②実習が中心の科目ですので、自ら積極的に取り組んでください。 ③キータッチは根気強さが必要です。毎日コツコツ指を動かす練習をしてください。				
評価の観点	知識・技能	商業の分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネス活動に関する課題解決を目指し、思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動の学習に主体的に取り組むとともに、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614310102(2年) 614310103(3年)	科目名	リテールマーケティング	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	リテールマーケティング検定3級テキスト(成美堂出版)			
	副教材	2023L&T日商リテールマーケティング検定試験3級(実教出版)			
到達目標	小売店舗運営の基礎的・基本的な知識と技術を習得させ、ビジネス創造の意義や役割について探求させ、ビジネス社会に対応できる能力と態度を育てる。				
選択条件	①就職希望者で、販売職を希望する生徒。 ②将来、起業を考えている生徒。 ③販売の知識を身につけたい生徒。				
	【補足】 日商リテールマーケティング検定3級の受験は、ネット受験になります。 受験料は、3級:4,200円、2級:5,770円です。				
授業内容	授業は、講義形式で進め、練習問題を解いていきます。 ①小売業の種類 ②マーチャンダイジング ③ストアオペレーション ④マーケティング ⑤販売・経営管理				
学習方法	①リテールマーケティング検定試験問題集を中心に学習し、日商リテールマーケティング検定3級を受験できる能力を身に付けます。 ②日頃から、経済やビジネス・法律のことに関心を持ち、百貨店や専門店の対応・店の雰囲気などをよく観察しましょう。 ③服装や言葉遣い・立ち振る舞いなどの自分の行動も良くなるように心掛けましょう。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的・基本的な技術を身につけ、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	ビジネスにおける諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し、表現する能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について関心を持ち、主体的に取り組み、実践的な態度を身につけることができる。			
評価方法	知識・技能	課題、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	課題、小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	614320102(2年) 614320103(3年)	科目名	秘書入門	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	ビジネス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	秘書検定3級集中講義改訂版(早稲田教育出版)			
	副教材				
到達目標	今日、さまざまな場でコミュニケーションを図ることができる能力が求められている。そこで職場のマナーを十分に心得て良好な人間関係を築くことができるように、秘書を通してビジネス社会を生きていく力をつけさせる。				
選択条件	①秘書技能検定3級を取得したいと考えている生徒。 ②ビジネス社会における基本的なマナーを身につけたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	秘書技能検定3級対策 ①必要とされる資質 ②職務知識 ③一般知識 ④マナー・接遇 ⑤技能				
学習方法	①秘書技能検定3級(6月・11月・2月)を取得できます。 ②日頃から社会の動きに注意し、新聞やニュースを見る習慣をつけましょう。 ③電話応対やお茶の入れ方など、すぐにでも実践できることは、家庭でも取り組みましょう。				
評価の観点	知識・技能	商業の各分野に関する基礎的な技術を身に付け、ビジネスの意義や役割を理解することができる。			
	思考・判断・表現	諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し表現する創造的な能力を身に付けることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ビジネスの諸活動について関心を持ち、主体的に取り組み、実践的な態度を身に付けることができる。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に取り組む態度、授業時の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	616140103	科目名	保育基礎	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材				
到達目標	保育についての基本的な知識と技術を身にける。				
選択条件	①将来、保育士・幼稚園教諭などの職業を希望している生徒。 ②子どもとかかわる仕事を希望しているため、保育についての知識や技術を身につけたいと考えている生徒。				
	【補足】				
授業内容	子どもの成長について基礎的な知識を学習します。 ①子どものからだや心の発達 ②子どもの生活～子どもの生活習慣の形成について～ ③子どもの文化～子どもの遊びと表現活動～ ※長期休業中に保育所等での実習を予定しています。				
学習方法	①復習をしっかりとって、授業内容を確実に理解していきましょう。 ②日頃から子どもを取り巻く問題に関心を持ち、新聞やニュースを視聴する習慣をつけましょう。 ③相手の立場にたって物事を考え、積極的にコミュニケーションをとる習慣を身につけましょう。 ④校外のボランティア活動に積極的に参加しましょう。				
評価の観点	知識・技能	子どもの発達、子どもの生活習慣、子どもの文化について、基礎的な知識を理解するとともに、関連する技術を身につけている。(定期考査・ワークシート・実技テスト・作品)			
	思考・判断・表現	子どもを取り巻く課題を発見し、解決を目指して思考を深め適切に判断し創意工夫し、表現することができる。(発表・レポート)			
	主体的に学習に取り組む態度	子どもに関する関心と課題意識を高め、主体的かつ協働的に取り組むことができる。(授業中の活動・提出物)			
評価方法	知識・技能	ワークシート・実技テスト・考査			
	思考・判断・表現	発表・レポート・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	グループ活動・ワークシート・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	616190102(2年) 616190103(3年)	科目名	ファッション造形基礎	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ファッション造形基礎(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	洋服製作の基礎的な知識と技術を身につけることができる。				
選択条件	①被服製作等の実習を中心とした授業です。 ②洋服の製作に関する基礎的・基本的な知識と技術を学びたい生徒。 ③服飾関係の大学・短大や専門学校への進学を考えている生徒。 ④着用できる洋服を完成させるまで粘り強く取り組むことができる生徒。				
	【補足】				
授業内容	①洋服の構成と被服材料について ②被服製作(日常着として着用できる服の製作)				
学習方法	①洋服の素材・構成に興味を持ち、理解する。 ②手縫い・ミシン操作に関して、基礎基本をしっかり身につけていく。 ③型紙作成・印しつけ・裁断を丁寧に行なうことで作品の出来栄が変わります。丁寧な作業を心がけましょう。 ④欠席・遅刻があると、製作作業が遅れます。その場合、放課後や長期休業中に補講をする場合があります。				
評価の観点	知識・技能	被服の構成、被服材料の種類や特徴、被服製作などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	被服製作やデザインに関する課題を発見し、合理的かつ創造的に解決することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	衣生活の充実向上を目指して自ら学び、ファッション造形に主体的かつ協働的に取り組んでいる。			
評価方法	知識・技能	小テスト・レポート・洋服作品			
	思考・判断・表現	小テスト・レポート・洋服作品			
	主体的に学習に取り組む態度	小テスト・レポート・洋服作品			

7 各科目シラバス

科目選択コード	616190102(2年) 616190103(3年)	科目名	ファッションデザイン	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	ファッションデザイン(実教出版)			
	副教材	ファッション&ビューティの色彩(日本色研)			
到達目標	色・形・素材などファッションの基礎を理解した上で、テーマに沿ったファッションデザイン画を描くことができる。また、自分が描いたでデザイン画を作品制作に生かすことができる。				
選択条件	①演習・実習を中心とした授業です。 ②ファッションデザイン画を描いて、自分のイメージするファッションを表現したい生徒。 ③ファッションデザインの基礎である、色彩・歴史について学びたい生徒。 ④服飾関係の大学・短大・専門学校への進学を考えている生徒。				
	【補足】 家庭科に関する進路を希望する生徒の中で、4年制大学進学を希望している生徒は、家庭基礎を選択するようにしてください。				
授業内容	①ファッションデザインの基礎(形態・色彩・素材等について)演習 ②ファッションの歴史について ③ファッション画による表現演習 ④ファッション画を基に1/6サイズの作品制作				
学習方法	①復習を確実にし、授業内容をその都度理解していくようにしましょう。 ②発想力と表現力が必要です。発想を広げるために好奇心をもって日頃から生活していくようにしていきましょう。				
評価の観点	知識・技能	ファッションデザインの基礎、発想や表現の方法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	ファッションデザインに関する課題を見出し、合理的・かつ創造的に解決することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	ファッションに関する課題に対して自ら学び、ファッションの創造的なデザインに主体的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	演習課題・考査			
	思考・判断・表現	演習課題・グループ活動・発表・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	演習課題・グループ活動・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	616230103	科目名	フードデザイン	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列		履修条件	履修
使用教材	教科書	フードデザイン COOKING & ARRANGEMENT(教育図書)			
	副教材	なし			
到達目標	栄養と食品、調理の基本的な知識及び、調理の基本的な技術を身につける。				
選択条件	①栄養士・調理師・パティシエ・食品製造に関する職種などを希望し、栄養と食品についての知識・技術を身につけたいと考えている生徒。				
	【補足】				
授業内容	①栄養や食品に関する基礎的な知識を学習します。 ②健康で豊かな食生活を営むための食事の在り方について考えます。 ③和洋中の基本的な調理技術を身につけるとともに、食卓マナーについて学習します。 ④食卓の整え方について学習します。 ⑤いろいろな食品についての調査研究を行い、それをまとめて発表する技術を身につけます。				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・復習をしっかりと行い、授業内容を確実に理解するようにしましょう。 ・日頃から「食」に対して興味をもち、食材の旬や利用の仕方に目を向けておきましょう。 ・積極的に実習に参加し、さらに家庭で繰り返すことによって、確かな調理技術を身につけましょう。 ・食生活を楽しく豊かにするために、食卓の整え方にも関心を持ちましょう。 				
評価の観点	知識・技能	科学と文化・安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、健康的な食生活に必要な知識と技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	栄養、食品、調理及び食品衛生などについて、課題を見だし、その解決を目指して思考を深め、適切に判断し表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自分や家族の食生活を見直し、健康的な食生活営むために必要な食品の知識や技術を積極的に学ぶ意欲がある。			
評価方法	知識・技能	授業プリント・考査・実習			
	思考・判断・表現	レポート・考査			
	主体的に学習に取り組む態度	レポート・実習・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	617100103	科目名	基礎看護	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	基礎看護(教育出版)			
	副教材	生活と福祉(実教出版)、生活と福祉 準拠 学習ノート(実教出版)			
到達目標	看護の意義と保健・医療・福祉における看護の役割を理解し、日常生活の援助及び診療における看護に関する基礎的な知識と技術を学び、看護を適切に行う能力と態度を習得する。				
選択条件	①介護職員初任者研修の必修科目ではありません。 ②看護職者の心構えと業務内容を知るとともに、基本的な看護技術について学ぶことができ、将来、看護・医療系を目指している場合は、選択することが望ましいです。				
	【補足】				
授業内容	①看護の本質 ②看護の共通技術 ③日常生活の援助 ④診療に伴う援助				
学習方法	①日頃から生命の尊さについて真剣に考えてください。 ②日頃からニュースや新聞を視聴する習慣をつけ、社会(医療関係)の動きに注意を向けましょう。日頃から多くの人と会話をし、周囲の人の小さな変化にも気付くことができるようコミュニケーション能力を高めましょう。				
評価の観点	知識・技能	看護の各分野に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	看護に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し創意工夫し、表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	看護に関する関心と課題意識を高め、主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業の態度・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の態度・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	618170103	科目名	データベース	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	データベース(実教出版)			
	副教材	30時間でマスター Access2013(実教出版)			
到達目標	情報産業に関する事象をデータベースの視点で捉え、情報社会の学習を基盤としてデータベースの利用、構築、運用及び保守に関する知識と技術を身に付け、データベースの活用に必要な能力とデータベースの安全かつ効率的な活用に取り組む態度を養う。				
選択条件	①情報分野に興味がある生徒。				
	【補足】				
授業内容	①データベースに関する具体的な課題を設定し、データベースを設計し操作する学習活動を行うことで、データベースの機能や役割、仕組み、データベースの必要性や重要性、データベース管理システムの機能や役割などについて考察します。 ②実際にデータベースの設計を行うことができるデータベースソフトAccessを使用し実習しながら、技術の習得に取り組みます。				
学習方法	①データベースソフト「Access」を使って、リレーショナルデータベースの基本的な操作及びデータベースの設計とデータ操作を学習していきます。 ②日本情報処理検定協会 情報処理検定(データベース)1級の資格取得を目指します。 ③データベース操作用標準言語のSQLを実習をしながら学習していきます。				
評価の観点	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識及びSQLを理解している。アクセスを使用してデータベース作成することができる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法を情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	アクセスを使用して、システムの構築について思考する。			
評価方法	知識・技能	課題、テスト(筆記・実技)			
	思考・判断・表現	課題、授業中の活動			
	主体的に学習に取り組む態度	課題、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	618220102(2年) 618220103(3年)	科目名	情報デザイン	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	情報デザイン(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	さまざまな情報を人の視覚にうったえデザインという形で表すとき、その情報をデザインとしての確に表現しなければならない。この授業ではアイデアや創意工夫を大切にす。また、表現するための基礎的な知識、理論、技術を学習する。				
選択条件	①ポスター制作やピクトグラム制作に興味がある生徒。				
	【補足】 情報系の専門学校に進学する生徒。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Word、PowerPointを使用したデザイン作成 ・イラストレータの基本操作 ・イラストレータを使用したデザイン作成 ・情報デザインの基礎 ・情報デザインの表現 ・情報デザインの実際 				
学習方法	<p>①Word、PowerPointを活用して、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。</p> <p>②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を理解し、さまざまなアプリケーションソフトを使用して課題を作成することができる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法を情報モラルを踏まえ、思考を深め、適切に判断できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで情報及び情報技術を活用し、主体的に解決しようと取り組む態度ができる。			
評価方法	知識・技能	作品制作、テスト(筆記・実技)			
	思考・判断・表現	課題レポート、作品制作、テスト(筆記・実技)			
	主体的に学習に取り組む態度	作品制作、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	618220102(2年) 618220103(3年)	科目名	3Dアニメーション	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	POV-RAYによる3次元CG制作 -モデリングからアニメーションまで- (画像情報教育振興協会)			
到達目標	POV-Rayを活用してコンテンツの制作実習に取り組み、これまで学んだコンテンツの制作に関する知識と技術を総合的に身に付けること、一連の作業を総合的に理解すること、創造性、コミュニケーション能力などの実践的な能力と態度を養う。				
選択条件	①CG作品制作に興味がある生徒。				
	【補足】				
授業内容	3次元コンピュータグラフィックスを取り上げ、POV-Rayの特徴や編集技法などの制作と編集に必要な知識と技術を扱う。その際、実際に作品を制作したり、編集したりする活動などを通して、照明やカメラなどの条件を設定して画像として視覚化する技法など、3次元空間上での物体の形状や質感を定義するために必要な知識と技術について扱う。				
学習方法	①POV-Rayを活用して、シーンファイル(プログラム)を記述し、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。 ②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。				
評価の観点	知識・技能	POV-Rayを活用するための基礎的・基本的なプログラミング知識を理解し、立体的な画像やアニメーションを作成することができる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法を情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで、情報及び情報技術を活用し、解決しようと取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	課題レポート、作品制作、テスト(筆記・実技)			
	思考・判断・表現	課題レポート、作品制作、テスト(筆記・実技)			
	主体的に学習に取り組む態度	作品制作、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	618230103	科目名	Webクリエイト	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	30時間でマスターWebデザイン(実教出版)			
到達目標	さまざまな情報を人の視覚にうったえたWebページで表すとき、その情報を的確に表現しなければならない。この授業ではアイデアや創意工夫を大切にする。また、Webページを作成するための基礎的な知識、理論、技術を学習する。				
選択条件	①PC操作ができWebページ作成に興味のある生徒。 ②情報系の専門学校に進学する生徒。				
	【補足】				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・Webサイト制作の基礎 ・HTMLの基礎 ・CSSの基礎 ・Webサイトの制作 ・JavaScriptの使用例 				
学習方法	①HTML言語を活用して、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。 ②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。				
評価の観点	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を理解している。HTMLを使用してWebページを作成することができる。			
	思考・判断・表現	情報モラルを踏まえて、課題の解決方法について思考を深め、適切に判断できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで情報及び情報技術を活用し、解決しようとする取り組みができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査、作品制作			
	思考・判断・表現	定期考査、作品制作			
	主体的に学習に取り組む態度	作品制作、授業に臨む態度、授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	619100103	科目名	社会福祉基礎	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	社会福祉基礎(実教出版)			
	副教材	社会福祉基礎 準拠 学習ノート(実教出版)			
到達目標	社会福祉の知識・サービスを学び、将来、福祉・保育・介護のスペシャリストとして必要な専門性の基礎・基本を身につけることができる。				
選択条件	①将来、福祉系の大学・短大・専門学校を目指している生徒。				
	【補足】 介護職員初任者研修の必修科目ではありません。				
授業内容	<p>社会福祉に関する基礎的な知識を習得し、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を身につける内容です。</p> <p>①社会福祉の理念と意義 ②社会福祉の歴史と次代の展望 ③生活を支える社会福祉・社会保障制度 ④人間関係とコミュニケーション ⑤地域福祉の進展と多様な社会的支援</p>				
学習方法	<p>①日頃から社会福祉の動きに目を向け、新聞やニュースを毎日視聴する習慣をつけましょう。</p> <p>②常に相手の立場に立って物事を考え、相手を理解しようとする習慣を身につけましょう。</p> <p>③日頃から全ての人が幸せに生活できる社会の実現を目指すために、自分には何ができるかを考えてください。</p>				
評価の観点	知識・技能	社会福祉の各分野に関する基礎的・基本的な知識を身につけ、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	社会福祉に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、適切に判断し創意工夫し、発表することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	社会福祉に関する関心と課題意識を高め、その解決に向けて主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業の態度・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の態度・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	619110102(2年) 619110103(3年)	科目名	介護福祉基礎	単位数	2年次(2単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	介護福祉基礎(実教出版)			
	副教材	介護福祉基礎 準拠 学習ノート (実教出版)			
到達目標	介護の考え方について理解し、介護を必要とする人を生活の観点から捉え、介護を適切に行う能力と態度を身につける。				
選択条件	①介護職員初任者研修を希望する生徒。 ②介護職員初任者研修を希望しなくても、介護の基本を身に付けたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	<p>介護を必要とする人の尊厳の保持や自立支援など介護の意義と役割を理解し、介護を適切に行う能力と態度を身につける内容です。</p> <p>①介護の意義と役割 ②介護福祉の担い手 ③介護を必要とする人の理解と介護 ④介護における安全確保と危機管理</p>				
学習方法	<p>①利用者の立場に立って考え、常によりよい介護を目指すために、高齢者や障がい者の方々と積極的にコミュニケーションを図りましょう。</p> <p>②介護を取り巻く状況や介護福祉サービス、専門職の制度化など、普段から社会の動きに関心を向けてください。</p>				
評価の観点	知識・技能	介護を行う上での基本的な知識・考え方を理解するとともに、その技術を活用することができる。			
	思考・判断・表現	介護に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その成果を創意工夫して表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	介護に関する諸問題に関心を持ち、よりよい介護を目指して主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業の態度・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の態度・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	619120103	科目名	コミュニケーション技術	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	コミュニケーション技術(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	コミュニケーションの基本である傾聴や共感について理解を深め、言語的かつ非言語コミュニケーション能力を高める。				
選択条件	①コミュニケーション能力を高めたい生徒。				
	【補足】 介護職員初任者研修の必修科目ではありません。				
授業内容	①介護におけるコミュニケーション ②サービス利用者や家族とのコミュニケーション ③介護におけるチームのコミュニケーション				
学習方法	①個別的な援助、集団および家族への援助、地域を基盤とした援助を学ぶために、常に周囲の人の生活に気を配り、ボランティアなどに参加することにより、実態を把握するようにしましょう。 ②日頃から、たくさんの人と積極的にコミュニケーションを図りましょう。				
評価の観点	知識・技能	コミュニケーションの基本的な知識や技術について学び、状況に応じたコミュニケーションを使った対応をすることができる。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションに関する諸問題の解決を目指して自らの思考を深め、適切に判断し、的確に自己表現できる能力を身につけることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	対人援助の基本であるコミュニケーションについて興味や関心を持ち、主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業(予習・復習)・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業(予習・復習)・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	619130102(2年) 619130103(3年)	科目名	生活支援技術	単位数	2年次(4単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	生活支援技術(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	自立した生活を支援するための介護に関する知識と技術を学び、様々な介護場面において適切な介護技術を用いて、安全に支援できる能力と態度を学びます。				
選択条件	①介護職員初任者研修を希望する生徒。				
	【補足】 介護職員初任者研修を受けない生徒は、受講できません。				
授業内容	<p>自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解し、基礎的な介護の知識と技術を習得し、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を学習します。</p> <p>①生活支援の理解 ②自立に向けた生活支援技術 ③終末期・緊急時の介護</p>				
学習方法	<p>①「生活支援技術」で学んだ尊厳の保持や自立支援の考え方、その他の知識を活用できるようにし、介護観や倫理観について自分の考えをきちんと持てるように、取り組むこと。</p> <p>②サービス利用者の理解を深めるとともに、介護実践の根拠となる介護に必要な技術について理解すること。</p>				
評価の観点	知識・技能	対人援助に関する基礎的・基本的な知識・技術を身につけ、その技術を適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	介護に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その成果を創意工夫して表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	自立生活を支援するために、課題意識を深め、その解決のために主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業の態度・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の態度・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	619170102(2年) 619170103(3年)	科目名	こころとからだの理解	単位数	2年次(2単位)・3年次(2単位)
履修年次	2・3年次 (継続)	設置系列	福祉サービス	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	こころとからだの理解(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	①介護を実践するために必要なこころとからだについて基礎的な知識を習得する。 ②介護実践の根拠となる心理、人体の構造と機能、発達と老化、認知症及び障害に関する基礎的な知識を学習する。				
選択条件	①介護職員初任者研修を希望する生徒。 ②看護医療系を希望する生徒は、選択することが望ましいです。				
	【補足】				
授業内容	<p>自立生活を支援するために必要なこころとからだの基礎的な知識を学び、介護実践に適切に活用できる能力を学習します。</p> <p>①こころとからだの基礎的理解 ②生活支援に必要なこころとからだのしくみの理解 ③発達と老化の理解 ④認知症の理解 ⑤障がいの理解</p>				
学習方法	①この科目では、言われたことだけを行うのではなく、自分から進んで知識を身につけ、自分の頭で考える習慣を身につけましょう。 ②介護実践に必要な知識について、サービス利用者やその家族を含めた環境にも留意する視点を持ちましょう。				
評価の観点	知識・技能	こころとからだの基礎的な知識を理解するとともに、介護実践に適切に活用することができる。			
	思考・判断・表現	介護に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、その成果を適切に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	介護を実践する際に必要な心と体について、課題意識を深め、その理解のために主体的かつ協働的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査・授業の態度・小テスト・発表			
	思考・判断・表現	小テスト・発表			
	主体的に学習に取り組む態度	授業の態度・小テスト・提出物・発表			

7 各科目シラバス

科目選択コード	621120102(2年) 621120103(3年)	科目名	スポーツⅡ	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	体育の見方・考え方を働かせ、課題を発見し、主体的、合理的、計画的な解決に向けてた学習過程を通して、心と体を一体として捉え、健やかな心身の育成に資するとともに、生涯を通してスポーツの推進及び発展に寄与する資質・能力を身につける。				
選択条件	①体力や運動能力に自信がある生徒。 ②体育・スポーツ系の学部に進学希望する生徒。				
	【補足】				
授業内容	①スポーツⅡ(球技)の特性・概念・領域を理解し、実際の支援法を体系的に学びながら、3つの型についての練習法やスポーツ大会の計画を策定したり、実施に必要な支援法を学びます。 ②主体的に自己の課題を見つけ、その解決のための方法を学びます。また、必要に応じて更にスキルアップできるような方策を仲間と考えます。				
学習方法	この授業を通して、運動の指導者としての資質を身につけて欲しいと考えています。教育現場や地域の球技大会などのイベントを主体的に企画したり指導したりできるようにしてください。 少なくとも一つの得意種目を見つけ、卒業後も豊かなスポーツライフを実現し、心身の健康を保持・増進するための基礎力を身につけましょう。				
評価の観点	知識・技能	運動の合理的な実践を通して、勝敗を競ったり、攻防を展開したり、表現したり、運動の特性に応じた段階的な技能を身につけることができる。			
	思考・判断・表現	指導者としての立場で、課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫したり、体力を高めるための運動を継続するための計画を工夫することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正・協力・責任などに対する意欲を持ち、健康・安全に留意して学習に主体的に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・スキルテスト			
	思考・判断・表現	授業中の活動			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動			

7 各科目シラバス

科目選択コード	623130102(2年) 623130103(3年)	科目名	素描	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	作品の制作を通して、それぞれの持つ個性や特徴を理解し、互いを尊重し合える心を育てる。芸術を愛好する心情を育て、豊かな情操を養う。				
選択条件	①この科目は、造形表現の基礎となる観察力や把握力を深め、形態や空間などの的確な表現力を高めることを目標としています。デッサンすることを通して、観察する能力を養います。 ②美術系に進学を希望する人は、入試にデッサンが出る場合が多いので、選択した方がよいでしょう。 ③美術選択をしていなかった人でも素描を選択できます。				
	【補足】 美術系大学・短大の入試には必ず必要です。他にも大学の工学部建築学科や歯科技工士の学校でも必要となります。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・物の形や調子を正確にとったり、造形的な成り立ちを学びます。 ・木炭や鉛筆など道具・材料の使い方を学びます。 ・モチーフ(対象物)がもつそれぞれの物質の違い、質感と光の関係、画面の大きさ等を考え、構図を決める方法を学びます。 ・全体の色彩のバランスを考えることを学びます。 ・日頃から対象物をよく観察することの大切さを学びます。 				
学習方法	<ul style="list-style-type: none"> ・形をしっかりと描くために、モチーフをよく観察しましょう。 ・初心者は物を部分的に捉えがちです。全体を把握しましょう。 ・集中して作品制作に取り組みましょう。 ・授業時間のみでは受験対策には不十分なので、自分でもデッサンの練習を継続してください。 				
評価の観点	知識・技能	対象の良さや美しさを把握し、個性を活かした表現ができる。			
	思考・判断・表現	自他のものの見方や感じ方の相違などを理解し、工夫して表現しようとする。			
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に考え、積極的に作品の制作や創造表現を工夫しようとする態度。			
評価方法	知識・技能	授業中の活動、作品			
	思考・判断・表現	授業中の活動、作品			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度			

7 各科目シラバス

科目選択コード	624100102	科目名	総合英語 I	単位数	2単位
履修年次	2年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	総合英語FACTBOOK English Grammar Core [NEW EDITION]・WORKBOOK(桐原書店)、Joy Reader 2・3(CHART INSTITUTE)			
到達目標	英語コミュニケーションに加えさらに英語に触れる機会を増やし、文法や語彙を強化し、文章を多く読む。そのことでバランスよく英語の5領域(読む・聞く・書く・話す(やりとり・発表))の力を発展させる。				
選択条件	①4年生大学・短期大学・看護医療系または外国語専門学校等進学希望者で、受験に英語が課せられている生徒。 ②英語の運用能力・語彙力・表現力を高めたい生徒。				
	【補足】 授業を通して、実用英語技能検定などの試験に通用する力も高めることができます。(英検準2級・2級など)				
授業内容	①英語コミュニケーション I で学習した内容を振り返り、定着を図ります。 ②教科書を通して、英語で聞いたことや読んだことを踏まえた上で、生徒同士で話したり書いたりするなどの英語活動を行います。 ③副教材を使って様々な基礎的な語彙を身につけ、表現力を高めます。				
学習方法	効果的に学習するために、次のことを確実に行いましょう。 ①予習…問題を自力で解答し、分からなかった語等を調べる。 ②授業…予習で理解した内容が正しいか、授業で確認する。ペアワーク・グループワークで、学習内容を実際にコミュニケーションの中で使うトレーニングをする。 ③復習…授業で学習した内容をワークブック等を使用した家庭学習で振り返り、理解を深める。				
評価の観点	知識・技能	外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて目的や場面、状況などに応じて活用できる技術を身につけている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。			
	主体的に学習に取り組む態度	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。			
評価方法	知識・技能	ノート、小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	ペアワーク、パフォーマンステスト、課題、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の態度、ペアワーク、パフォーマンステスト、課題			

7 各科目シラバス

科目選択コード	624180102(2年) 624180103(3年)	科目名	観光英語	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	人文科学	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	実用観光英語 改訂新版 Travel English at Your Fingertips Revised Edition (成美堂)			
到達目標	日本で生活をする私たちが、海外旅行をした際に体験するであろう様々な場面・状況において使われる英会話表現を体験的に学ぶことで、表現力・コミュニケーション力などを伸ばす。				
選択条件	①英語を聞いて理解し、英語で対話する力を身につけたい生徒。 ②英語での活動に積極的に取り組み、英語でのコミュニケーション力を高めたいと考えている生徒。 ③観光の場面でよく使われる英語表現を学び、海外旅行などをする際に必要とされる英語力を身に身につけたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	①短いDialogを活用して、「話すこと(やり取り)」を身につける。 ②観光英語特有の語彙・表現を絵や表、旅行パンフレット、地図の語彙・表現を使って学習し、学習したことを活用して「聞くこと」「読むこと」「書くこと」「話すこと(発表)」を身につける。				
学習方法	表現力を身につけるためには、実際に英語を使ってみる事です。次のようなことに取り組んでいきましょう。授業にはALTの先生にも入っていただきます、たくさん話しかけてみましょう。 ①間違ってもいいので、積極的に英語で話したり書いたりする。 ②観光英語特有の語彙・表現を覚え、ペアワーク・グループワークに積極的に取り組む。 ③分からない単語や表現などは、辞書で調べる習慣を身につける。				
評価の観点	知識・技能	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。			
	思考・判断・表現	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて英語で情報や考えなどを適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。(授業中の活動・発表・提出物)			
評価方法	知識・技能	授業中の活動・提出物・小テスト・定期考査			
	思考・判断・表現	授業中の活動・提出物・小テスト定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

7 各科目シラバス

科目選択コード	660110102(2年) 660110103(3年)	科目名	社会教養	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列		履修条件	選択履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	現代の一般知識に関わる事柄に対する知識を取得し、意欲的に課題を追究することができる。				
選択条件	①この科目は、高校卒業後、公務員や一般企業への就職を考えている生徒。 ②就職試験に対する基礎学力を身につけたい生徒。				
	【補足】				
授業内容	就職試験や職業生活に活かすために、普通教科を中心とした基礎的な演習問題を行い、一般常識を身につけることを目指します。				
学習方法	問題集をしっかりと解くことが大切です。そうすることで基礎的な事については学力は伸びます。ニュースや新聞をみて、日本に限らず世界の動きをとらえるようにしましょう。				
評価の観点	知識・技能	諸資料を有効に活用し、一般知識の習得と考え方等を理解することができる。			
	思考・判断・表現	現代の一般知識に関わる事柄から課題を見出し、資料から読み取れることを考え・判断し・適切に表現することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	現代の一般知識に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追求することができる。			
評価方法	知識・技能	定期考査、小テスト等			
	思考・判断・表現	定期考査、プリント等			
	主体的に学習に取り組む態度	小テスト、プリント、授業時の態度等			

7 各科目シラバス

科目選択コード	660100101	科目名	産業社会と人間	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列		履修条件	原則履修
使用教材	教科書	なし			
	副教材	なし			
到達目標	「産業社会における自己の在り方・生き方について考え、社会に積極的に寄与し、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養い、主体的な科目の選択に役立てる」こと				
選択条件	総合学科高校では、原則必履修科目である。				
	【補足】				
授業内容	①自分史作成 ②生活史作成 ③ライフプラン作成 ④科目選択ガイダンス ⑤個人面談				
学習方法	①Google Classroomを使った調べ学習 ②グループ討議 ③インタビュー ④レポート作成 ⑤プレゼンテーション				
評価の観点	知識・技能	健全な職業観をもち、社会に貢献することの必要性を理解することができる。			
	思考・判断・表現	自らの考えをまとめ・発表し・適切に伝えることができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	「産業社会と人間」に関心をもち、意欲的に問題に取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	レポート・小テスト			
	思考・判断・表現	授業中の活動・発表・レポート			
	主体的に学習に取り組む態度	授業中の活動・提出物			

1年次(令和5年度入学生用)

各学科に共通する各教科・科目

教科	科目選択コード	科目名	1年次	2年次	3年次
国語	601100101	現代の国語	2		
	601110101	言語文化	2		
	601120102	論理国語(2年)		②	
	601120103	論理国語(3年)			②
	601130102	文学国語(2年)		②	
	601130103	文学国語(3年)			②
	601140102	国語表現(2年)		2	
	601140103	国語表現(3年)			2
	601150102	古典探究		4	
	601160103	古典精読			2
地理歴史	602100102	地理総合(2年)		2	
	602100103	地理総合(3年)			2
	602110103	地理探究			4
	602120101	歴史総合	2		
	602130102	日本史探究		4	
	602140102	世界史探究		4	
	602150102	有明学(2年)		2	
	602150103	有明学(3年)			2
	602160103	発展日本史			2
	602170103	発展世界史			2
公民	603100102	公共		2	
	603110103	倫理			2
	603120103	政治・経済			2
数学	604100101	数学Ⅰ	3		
	604110102	数学Ⅱ		4	
	604120103	数学Ⅲ			4
	604130101	数学A(1年)	2		
	604130103	数学A(3年)			2
	604140102	数学B		2	
	604150103	数学C			2
	604160102	数学α		2	
	604170103	数学総合Ⅰ			2
604180103	数学総合Ⅱ			2	
理科	605110102	物理基礎		2	
	605120103	物理			4
	605130101	化学基礎(1年)			
	605130102	化学基礎(2年)			
	605140102	化学(2年)		4	
	605140103	化学(3年)			4
	605150101	生物基礎(1年)	2		
	605150102	生物基礎(2年)			
	605160102	生物(2年)		4	
	605160103	生物(3年)			4
	605170101	地学基礎(1年)			
	605170102	地学基礎(2年)		2	
	605180102	地学(2年)		4	
	605180103	地学(3年)			4
	605190103	自然と科学			2
	605200103	物質と科学			2
605210103	生命と科学			2	
605220103	地球と科学			2	
保健体育	606100101	体育(1年)	3		
	606100102	体育(2年)		2	
	606100103	体育(3年)			3
	606110101	保健(1年)			
	606110102	保健(2年)	1	1	
	606120102	レクリエーション(2年)		2	
	606120103	レクリエーション(3年)			2

教科	科目選択コード	科目名	1年次	2年次	3年次
芸術	607100101	音楽Ⅰ			
	607110102	音楽Ⅱ(2年)		2	
	607110103	音楽Ⅱ(3年)			2
	607120103	音楽Ⅲ			2
	607130101	美術Ⅰ	2		
	607140102	美術Ⅱ(2年)		2	
	607140103	美術Ⅱ(3年)			2
	607190101	書道Ⅰ			
	607200102	書道Ⅱ(2年)		2	
	607200103	書道Ⅱ(3年)			2
	607220102	ヴォーカルアンサンブル(2年)		2	
	607220103	ヴォーカルアンサンブル(3年)			2
	607230103	有明の伝統工芸			2
	607240102	実用書道(2年)		2	
	607240103	実用書道(3年)			2
607250103	陶芸教室			2	
607260102	漫画入門(2年)		2		
607260103	漫画入門(3年)			2	
外国語	608100101	英語コミュニケーションⅠ	4		
	608110102	英語コミュニケーションⅡ		4	
	608120103	英語コミュニケーションⅢ			4
	608130102	論理・表現Ⅰ(2年)		2	
	608130103	論理・表現Ⅰ(3年)			2
	608140103	論理・表現Ⅱ			2
	608160102	中国語(2年)		2	
	608160103	中国語(3年)			2
家庭	608170102	ハンゲル(2年)		2	
	608170103	ハンゲル(3年)			2
	609100101	家庭基礎	2		
	609110101	家庭総合(1年)		②	
	609110102	家庭総合(2年)			②
609120103	暮らしとマナー			2	
情報	610100101	情報Ⅰ	2		

※ 表中の数字は単位数(1週間にある授業時間数)です。

〈補足説明〉

②や④は、2年間継続して単位を履修することを表す。

1年次(令和5年度入学生用)

主として専門学科において開設される各教科・科目

教科	科目選択コード	科目名	1年次	2年次	3年次
農業	612100102	農業と環境		4	
	612140102	作物(2年)		2	
	612140103	作物(3年)			2
	612150102	野菜(2年)		2	
	612150103	野菜(3年)			2
	612160102	果樹(2年)		2	
	612160103	果樹(3年)			2
	612170102	草花(2年)		2	
	612170103	草花(3年)			2
	612210102	農業経営(2年)		2	
	612210103	農業経営(3年)			2
	612230102	植物バイオテクノロジー(2年)		2	
	612230103	植物バイオテクノロジー(3年)			2
	612240102	食品製造(2年)		4	
	612240103	食品製造(3年)			4
	612250102	食品化学(2年)		2	
	612250103	食品化学(3年)			2
	612260102	食品微生物(2年)		2	
	612260103	食品微生物(3年)			2
	612380102	生物活用(2年)		2	
	612380103	生物活用(3年)			2
	612390102	地域資源活用(2年)		2	
	612390103	地域資源活用(3年)			2
	612400102	パン職人の技(2年)		2	
	612400103	パン職人の技(3年)			2
	612410102	ペット動物(2年)		2	
	612410103	ペット動物(3年)			2
	612420102	有機農業生活(2年)		2	
	612420103	有機農業生活(3年)			2
	商業	614130102	ビジネスコミュニケーション(2年)		4
614130103		ビジネスコミュニケーション(3年)			4
614140102		マーケティング(2年)		2	
614140103		マーケティング(3年)			2
614160103		観光ビジネス			2
614180102		グローバル経済(2年)		2	
614180103		グローバル経済(3年)			2
614190103		ビジネス法規			2
614200101		簿記	2		
614210102		財務会計Ⅰ		4	
614220103		財務会計Ⅱ			4
614230102		原価計算		4	
614250102		情報処理(2年)		4	
614250103		情報処理(3年)			4
614300102		OA事務(2年)		2	
614300103		OA事務(3年)			2
614310102		リテールマーケティング(2年)		2	
614310103		リテールマーケティング(3年)			2
614320102		秘書入門(2年)		2	
614320103		秘書入門(3年)			2

教科	科目選択コード	科目名	1年次	2年次	3年次
家庭	616140103	保育基礎			2
	616190102	ファッション造形基礎(2年)		2	
	616190103	ファッション造形基礎(3年)			2
	616210102	ファッションデザイン(2年)		2	
	616210103	ファッションデザイン(3年)			2
	616230103	フードデザイン			2
看護	617100103	基礎看護			2
情報	618170103	データベース			4
	618180102	情報デザイン(2年)		2	
	618180103	情報デザイン(3年)			2
	618220102	3Dアニメーション(2年)		2	
	618220103	3Dアニメーション(3年)			2
	618230103	Webクリエイト			2
福祉	619100103	社会福祉基礎			2
	619110102	介護福祉基礎(2年)		②	
	619110103	介護福祉基礎(3年)			②
	619120103	コミュニケーション技術			2
	619130102	生活支援技術(2年)		④	
	619130103	生活支援技術(3年)			②
体育	619170102	こころからの理解(2年)		②	
	619170103	こころからの理解(3年)			②
	621120102	スポーツⅡ(2年)		2	
美術	621120103	スポーツⅡ(3年)			2
	623130102	素描(2年)		2	
英語	623130103	素描(3年)			2
	624180102	観光英語(2年)		2	
	624180103	観光英語(3年)			2
総合	624100102	総合英語Ⅰ		2	
	660110102	社会教養(2年)		2	
	660110103	社会教養(3年)			2
	626100102	総合的な探究の時間(2年)		2	
	626100103	総合的な探究の時間(3年)			2
	660100101	産業社会と人間	2		

※ 表中の数字は単位数(1週間にある授業時間数)です。

〈補足説明〉

②や④は、2年間継続して単位を履修することを表す。